



株式会社夢真ホールディングス
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.

2017年9月期
決算説明資料

第1四半期

2017年9月期/
September, 2016
証券コード/
Securities code
2362

CONTENTS

連結決算概要 … P4

セグメント別概要 …P24

第2四半期以降について …P47

新規事業について …P57

株主還元 …P62

ご参考 …P67

事業ポートフォリオ

2016年12月31日現在

事業区分	会社名	事業内容
建築技術者派遣	株式会社 夢真ホールディングス	施工管理技術者派遣 CADオペレーター派遣 施工図作図請負
エンジニア派遣	株式会社 夢テクノロジー	製造業界向けエンジニア派遣 ITエンジニア派遣
教育関連	株式会社 夢エデュケーション	ハイクラスなITエンジニアの育成
IT関連	株式会社 ギャラクシー 株式会社 ソーシャルフィンテック Keepdata 株式会社	建設業界向けITサービス ITを活用したFXトレードサービス ビッグデータプラットフォームの提供
その他	株式会社 夢エージェント Yumeagent Philippines Corp. BuzzBox 株式会社 株式会社 エクスドリーム・スポーツ	建設・製造業界向け人材紹介 フィリピン現地人材への日本語教育 スポーツ業界向け人材紹介

※ 教育関連・IT関連事業+青字表記 = 2017年9月期 第1四半期より連結

連結決算概要

TOPIC

1. 売上高

26四半期連続 前年比増収

2. 営業利益

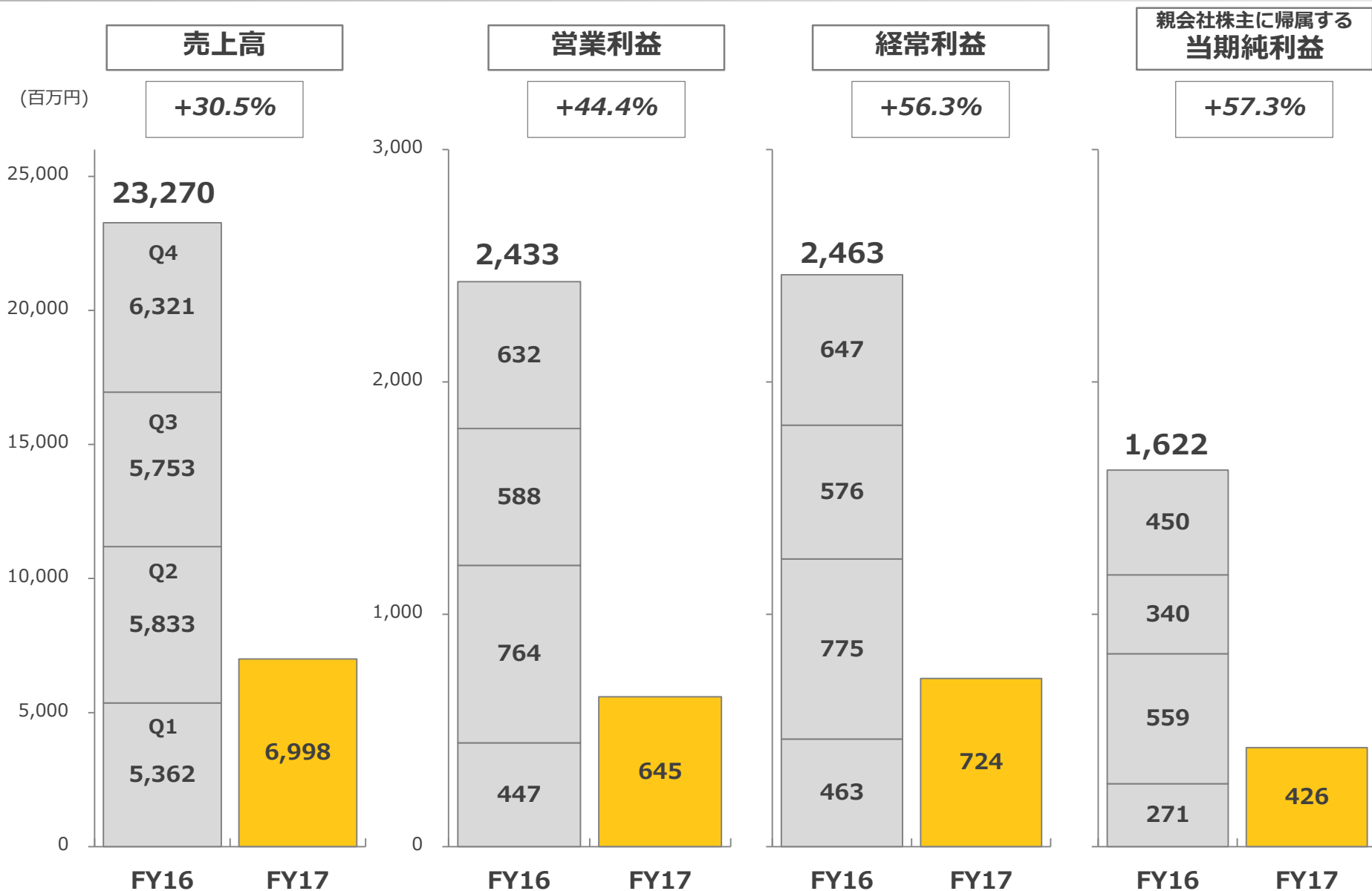
派遣単価上昇で44%増益

3. 新規事業

教育・IT関連事業スタート

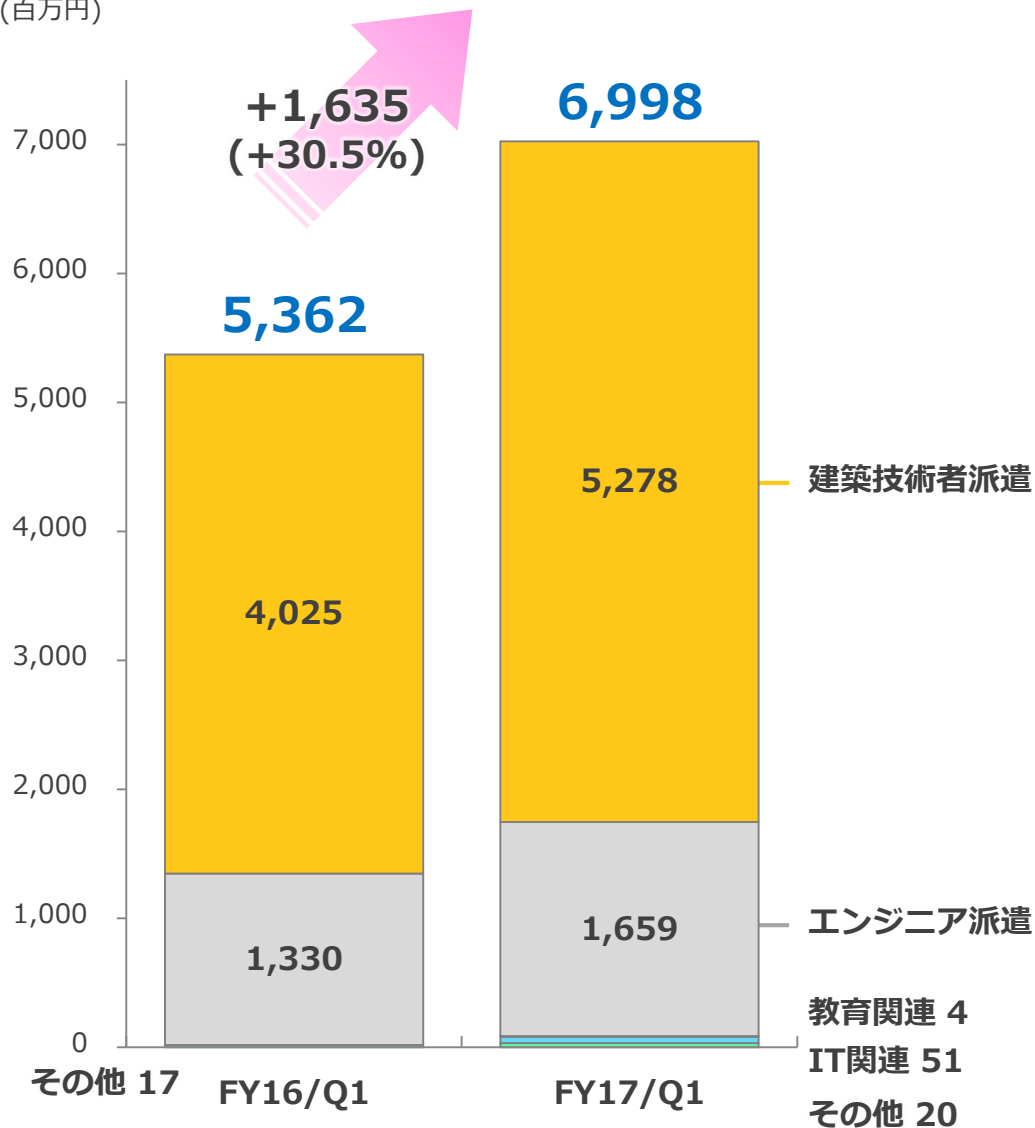
連結P/Lの状況

連結P/Lの状況



連結P/L (1) 売上高

(百万円)



[主な増減要因]

建築技術者派遣 +1,252百万
(+31.1%)

- 稼働人数の増加、派遣単価の改善による増収

エンジニア派遣 +328百万
(+24.7%)

- 稼働人数の増加による増収

教育関連+IT関連 +56百万
(-%)

- ITエンジニア育成講座の運営、建設現場へのIT支援、FXのシステムトレードなど

その他 +14百万
(+85.5%)

- 建設・製造・スポーツ業界への人材紹介
- フィリピン現地人材への日本語教育

連結P/L (2) 販売費及び一般管理費

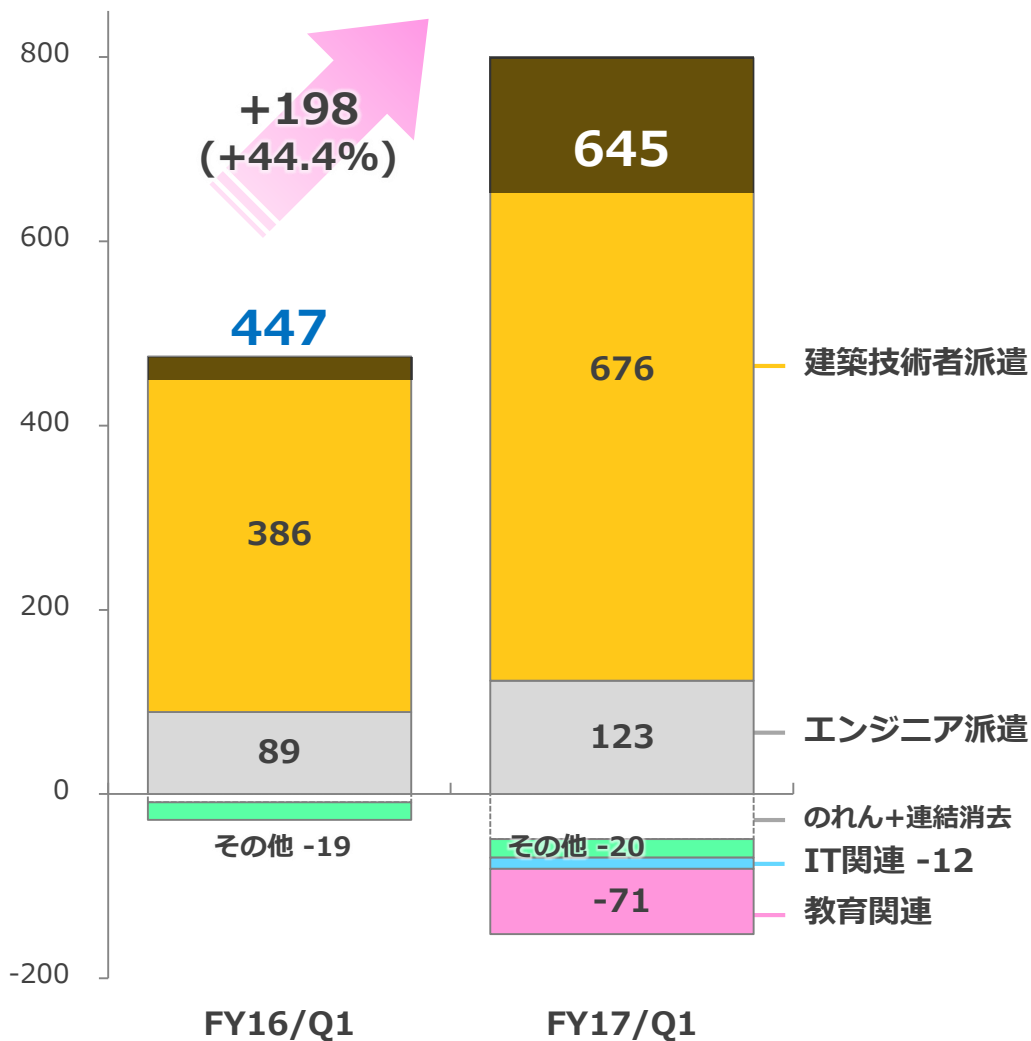
(百万円)

	FY16/Q1	FY17/Q1	増減額	摘要
売上原価	3,968	4,980	+1,012	・技術者の増員による増加
売上原価率	74.0%	71.2%	▲2.8pt.	
売上総利益	1,394	2,017	+623	
売上総利益率	26.0%	28.8%	+2.8pt.	・派遣単価の上昇による改善
販売費及び一般管理費	947	1,371	+424	
役員報酬	31	40	+9	
人件費	439	608	+168	・営業員の増員による増加
広告宣伝費	6	13	+7	
採用費	217	328	+110	・媒体費用の増加
地代家賃	72	84	+11	
業務委託費	57	89	+31	
のれん償却額	13	52	+39	
販管費率	17.7%	19.6%	+1.9pt.	

※ 人件費 = 給与及び手当 + 旅費及び交通費 + 賞与 + 法定福利費 + 福利厚生費 + 退職給付費用 (役員含まず)

連結P/L (3) 営業利益

(百万円)



[主な増減要因]

建築技術者派遣 +289百万 (+74.8%)

- 派遣単価の上昇による増益

エンジニア派遣 +33百万 (+37.2%)

- 採用コストの増加による減益

教育関連+IT関連 ▲83百万 (-%)

- Webサイト制作や社内インフラ整備等の先行投資費用

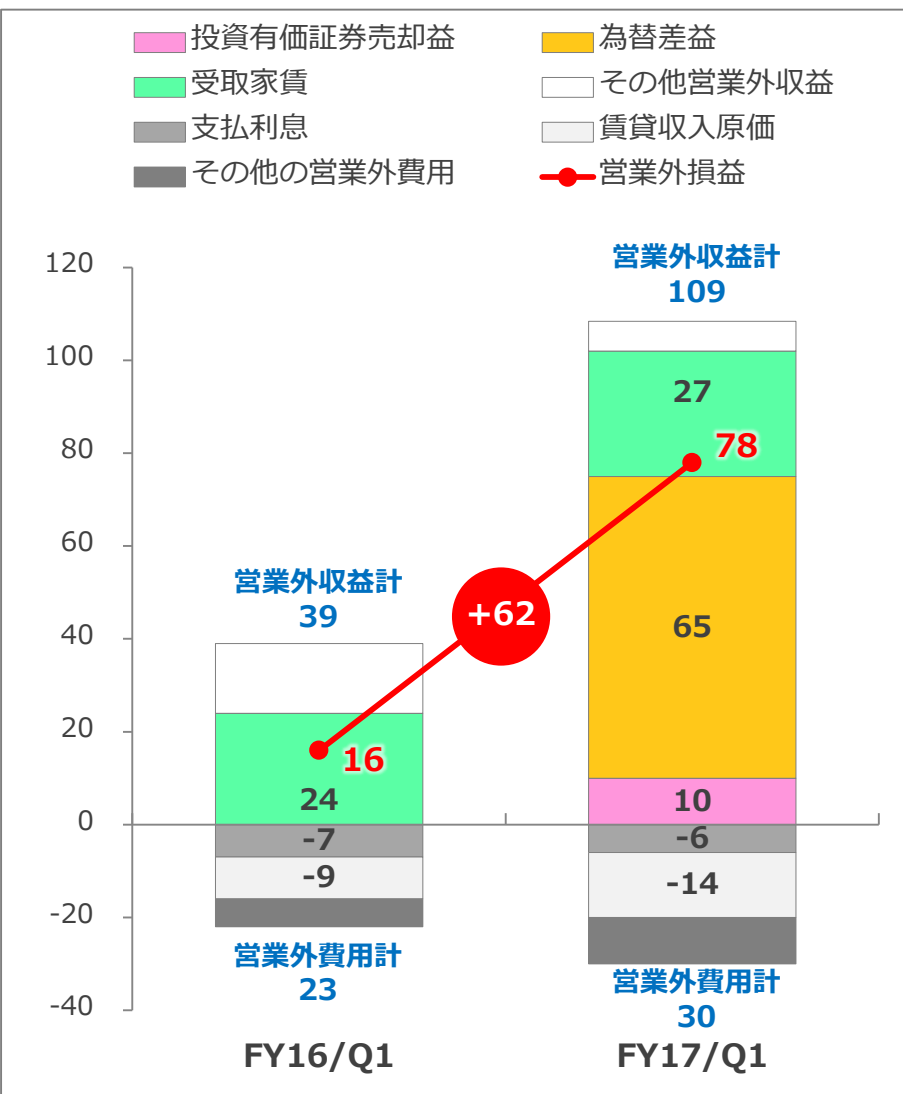
その他 ▲0.5百万 (▲2.8%)

- 建設・製造・スポーツ業界への人材紹介
- フィリピン現地人材への日本語教育

連結P/L (4) 営業外損益・経常利益

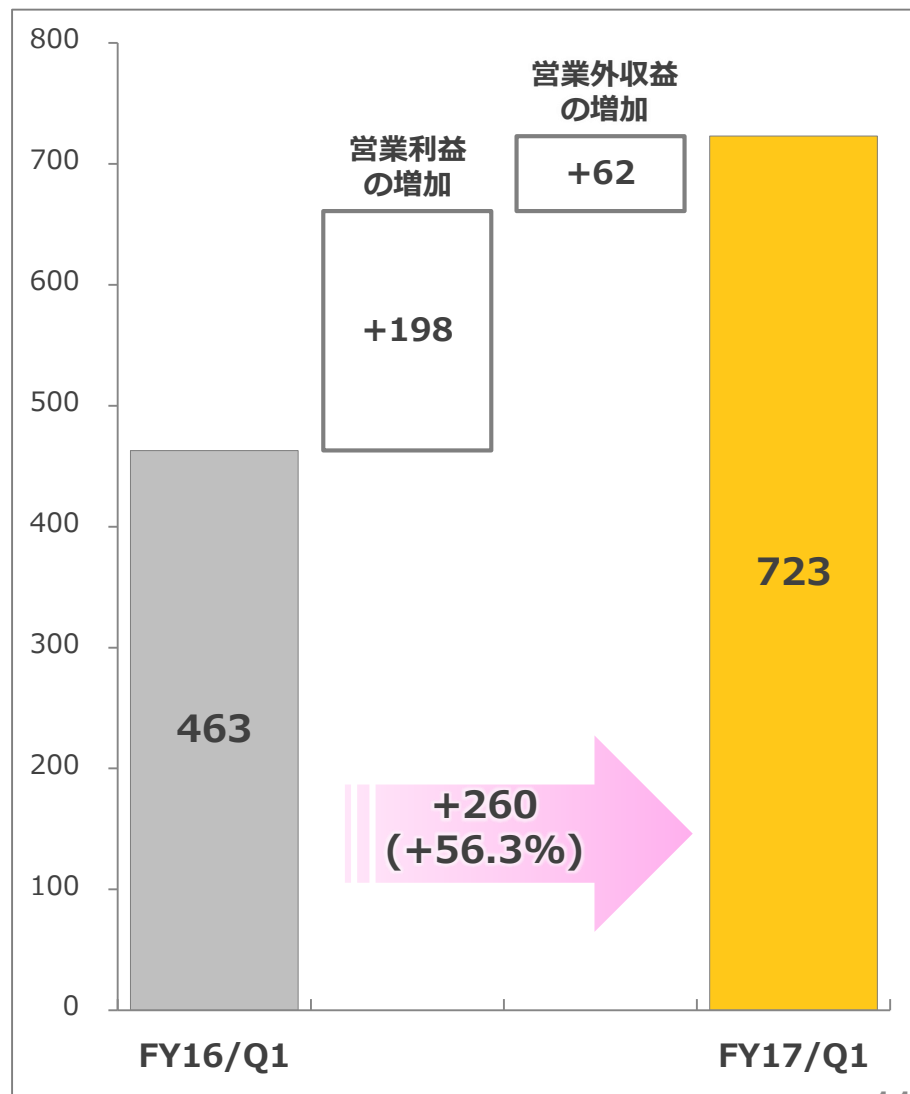
(百万円)

営業外損益

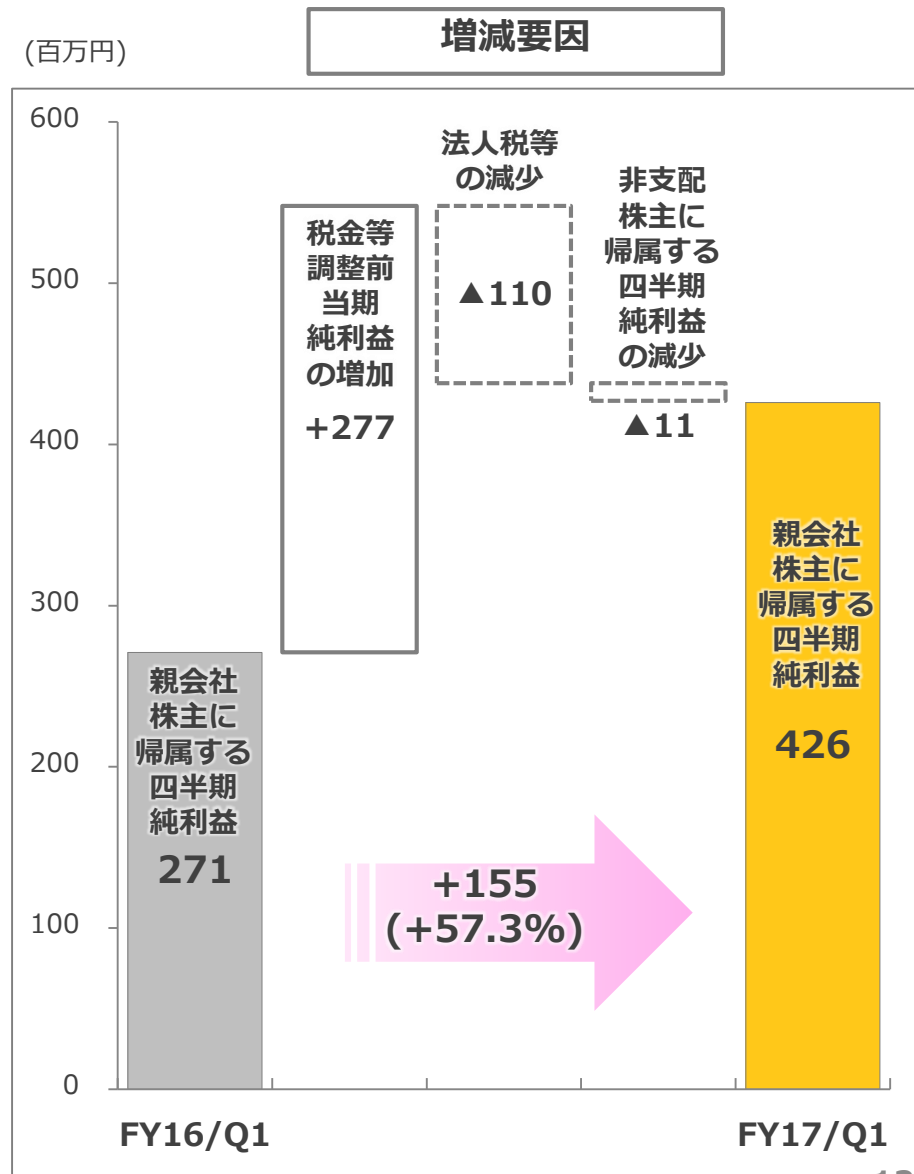
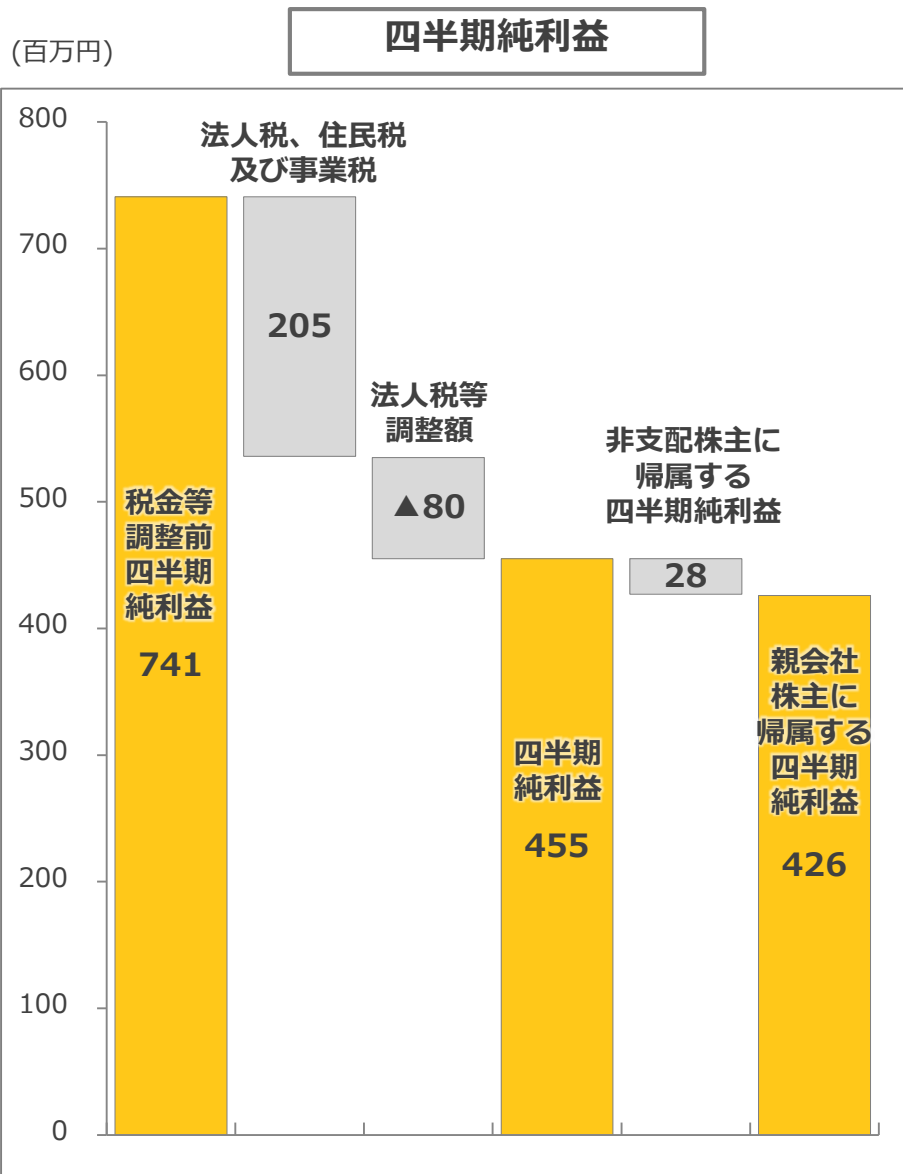


(百万円)

経常利益



連結P/L (5) 親会社株主に帰属する四半期純利益



連結 P/L サマリー

(百万円)

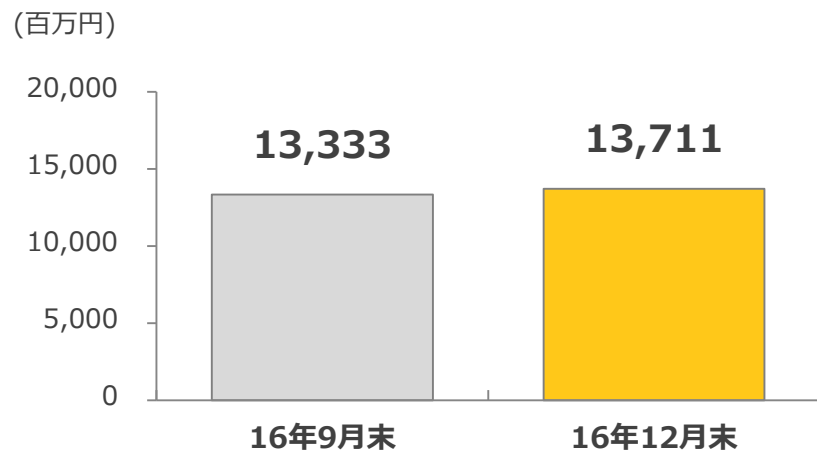
	FY16/Q1	FY17/Q1	増減額	増減率
売上高	5,362	6,998	+1,635	30.5%
売上総利益	1,394 (26.0%)	2,017 (28.8%)	+623	44.7%
販売費及び一般管理費	947 (17.7%)	1,371 (19.6%)	+424	44.9%
営業利益	447 (8.3%)	645 (9.2%)	+198	44.4%
経常利益	463 (8.6%)	724 (10.3%)	+260	56.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	271 (5.1%)	426 (6.1%)	+155	57.3%

※ () = 売上高比率

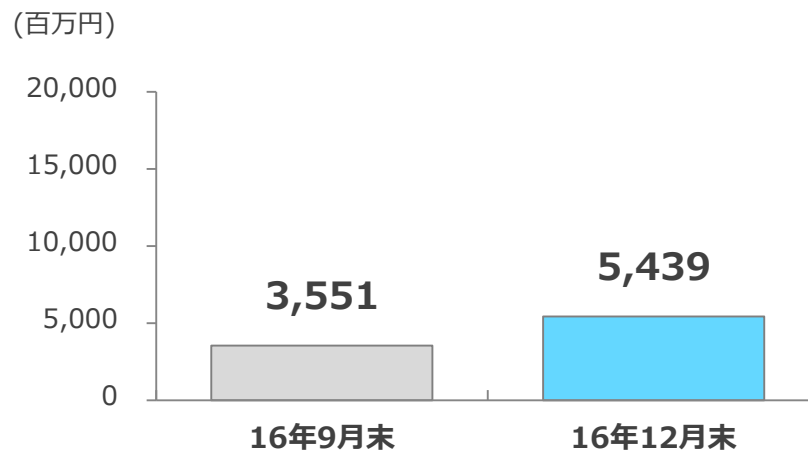
連結B/Sの状況

連結B/Sの状況

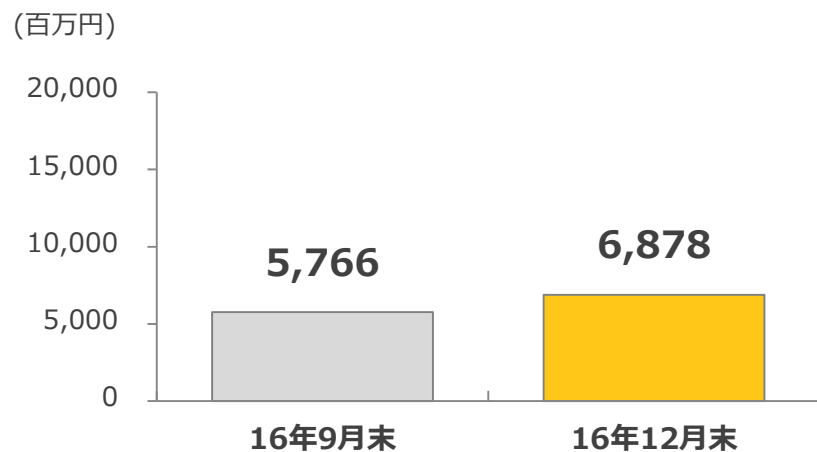
流動資産



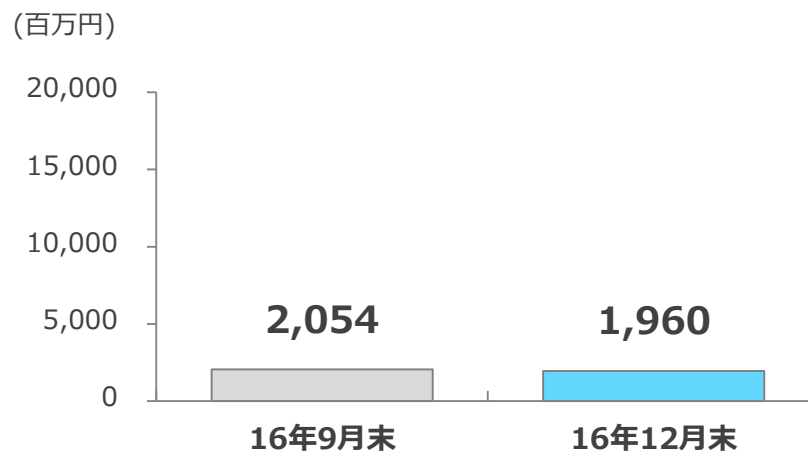
流動負債



固定資産



固定負債



連結B/S (1) 資産の部

(百万円)

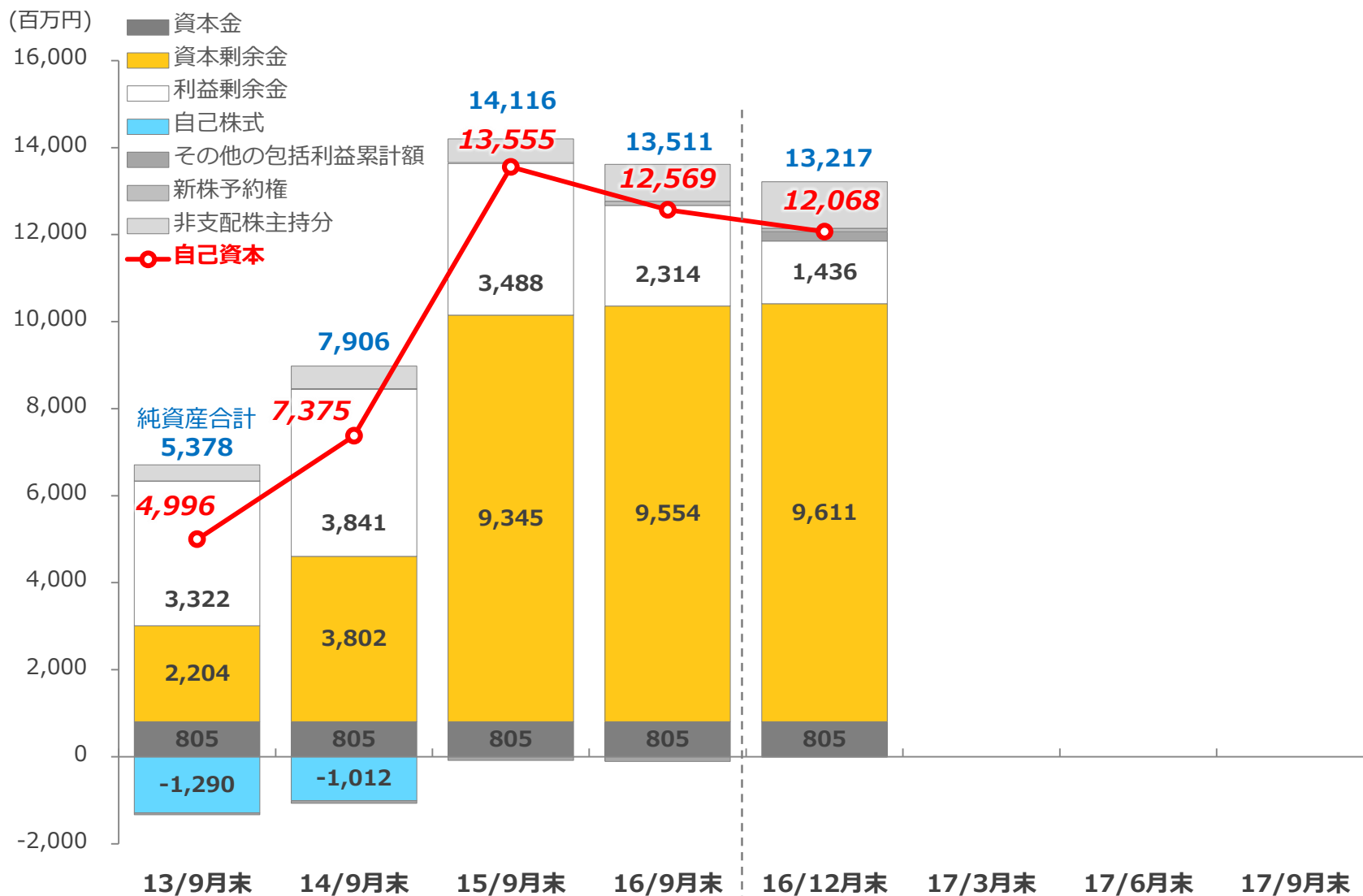
	2016年9月末	2016年12月末	増減額	摘要
資産の部	19,117	20,589	+1,472	
流動資産	13,333	13,711	+377	
現金及び預金	8,723	8,613	▲110	配当金の支払い等による減少
受取手形及び売掛金	3,642	3,761	+119	派遣先現場数の増加による増加
繰延税金資産	181	97	▲83	
預け金	335	639	+304	
貸倒引当金	▲21	▲23	▲2	
固定資産	5,766	6,878	+1,112	
有形固定資産	1,352	1,342	▲10	
建物及び構築物	582	539	▲43	
土地	702	702	-	
リース資産	26	24	▲2	
無形固定資産	1,220	1,411	+190	
のれん	1,175	1,269	+94	子会社の増加による増加
ソフトウェア	40	137	+96	IT関連事業連結による増加
投資その他の資産	3,193	4,125	+932	
投資有価証券	1,566	2,508	+942	関連会社の増加等による増加
繰延税金資産	115	81	▲34	
差入敷金保証金	375	390	+15	
投資不動産	1,105	1,107	+2	
貸倒引当金	▲33	▲35	▲2	

連結B/S (2) 負債・純資産の部

(百万円)

	2016年9月末	2016年12月末	増減額	摘要
負債の部	5,606	7,400	+1,794	
流動負債	3,551	5,439	+1,888	
買掛金	11	55	+44	
短期借入金	100	1,647	+1,547	運転資金の借入による増加
1年内返済予定の長期借入金	791	793	+2	
未払金	330	405	+74	
未払法人税等	252	219	▲32	
未払費用	1,057	1,269	+212	
賞与引当金	381	176	▲205	
固定負債	2,054	1,960	▲93	
長期借入金	1,644	1,454	▲190	
繰延税金負債	19	96	+96	
退職給付に係る負債	258	267	+9	
純資産の部	13,511	13,217	▲294	
株主資本	12,674	11,852	▲821	
資本金	805	805	-	
資本剰余金	9,554	9,611	+56	連結子会社の増加による増加
利益剰余金	2,314	1,436	▲878	FY17/Q1純利益 - FY16期末配当
その他の包括利益累計額	▲105	215	+320	
その他有価証券評価差額金	▲96	221	+318	
新株予約権	95	77	▲18	
少数株主持分	846	1,071	+225	

連結B/S (3) 自己資本推移

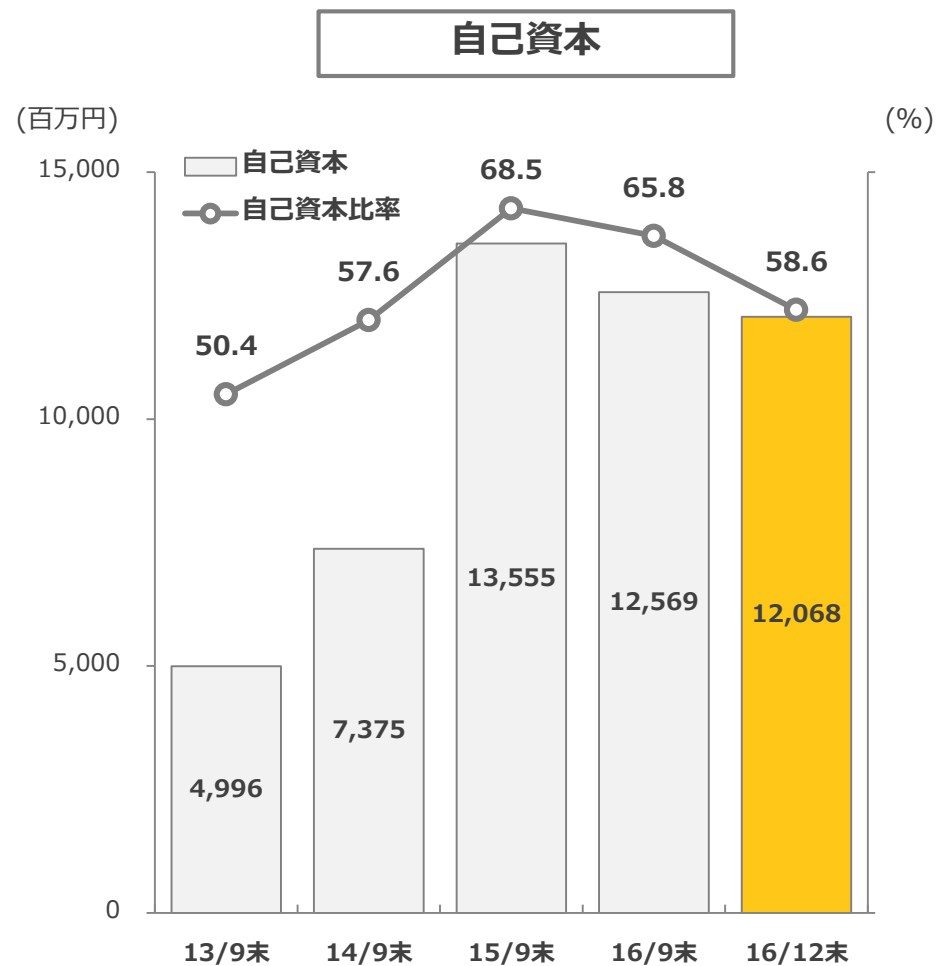
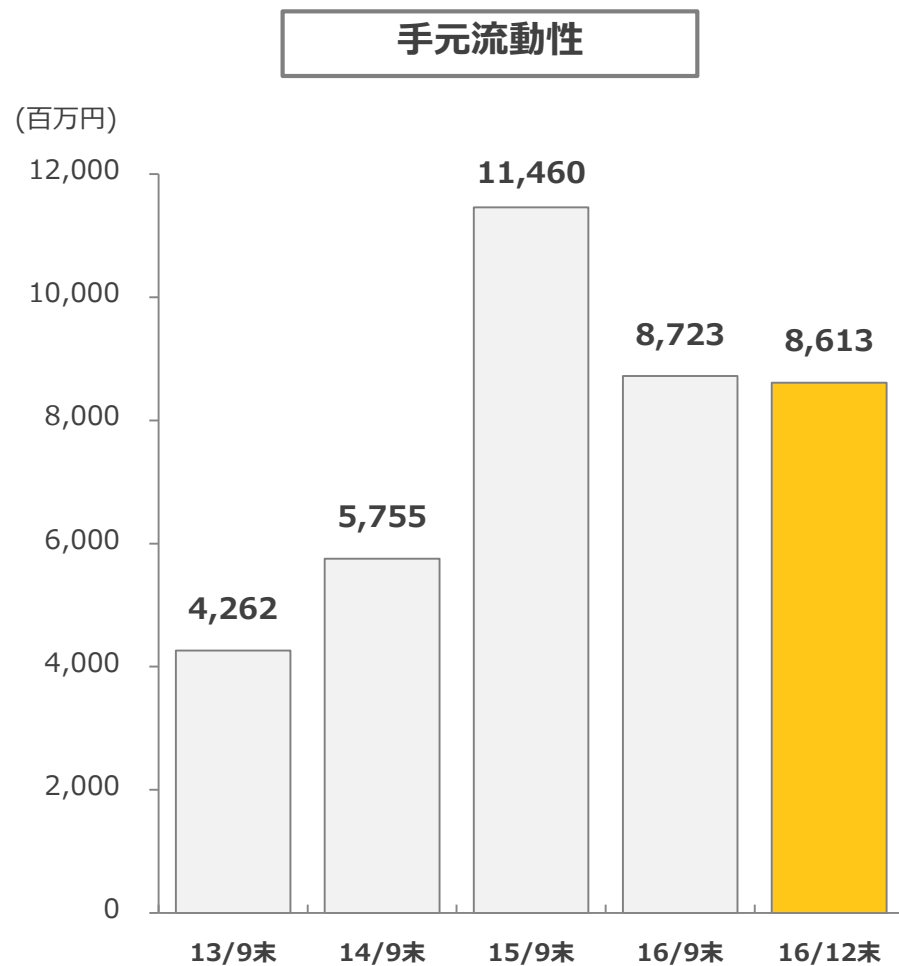


※ 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分 - 新株予約権

FY2017

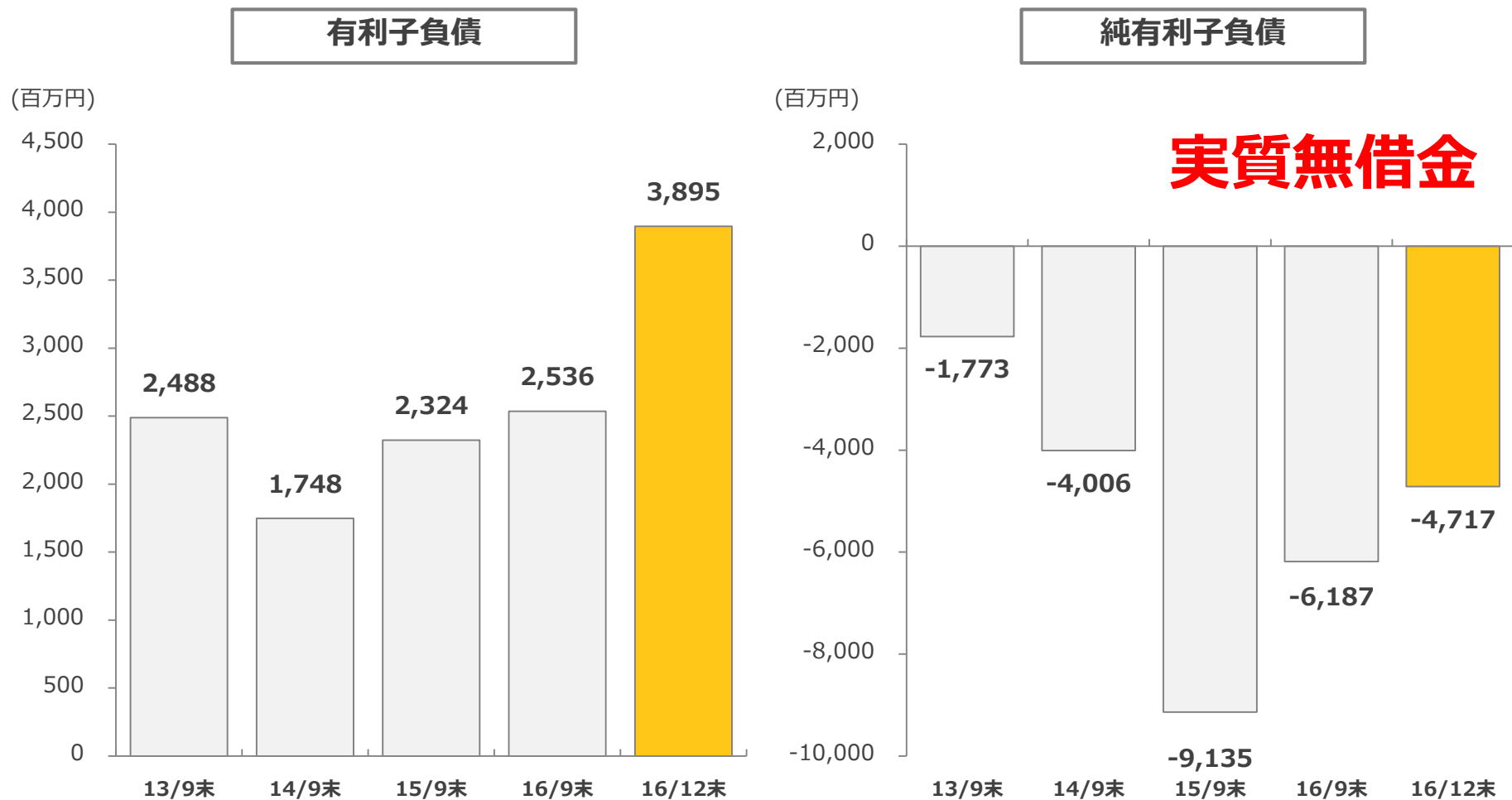
財務指標

財務指標（1）手元流動性・自己資本



- ※ 1. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券
 2. 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分 - 新株予約権
 3. 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

財務指標（2）有利子負債

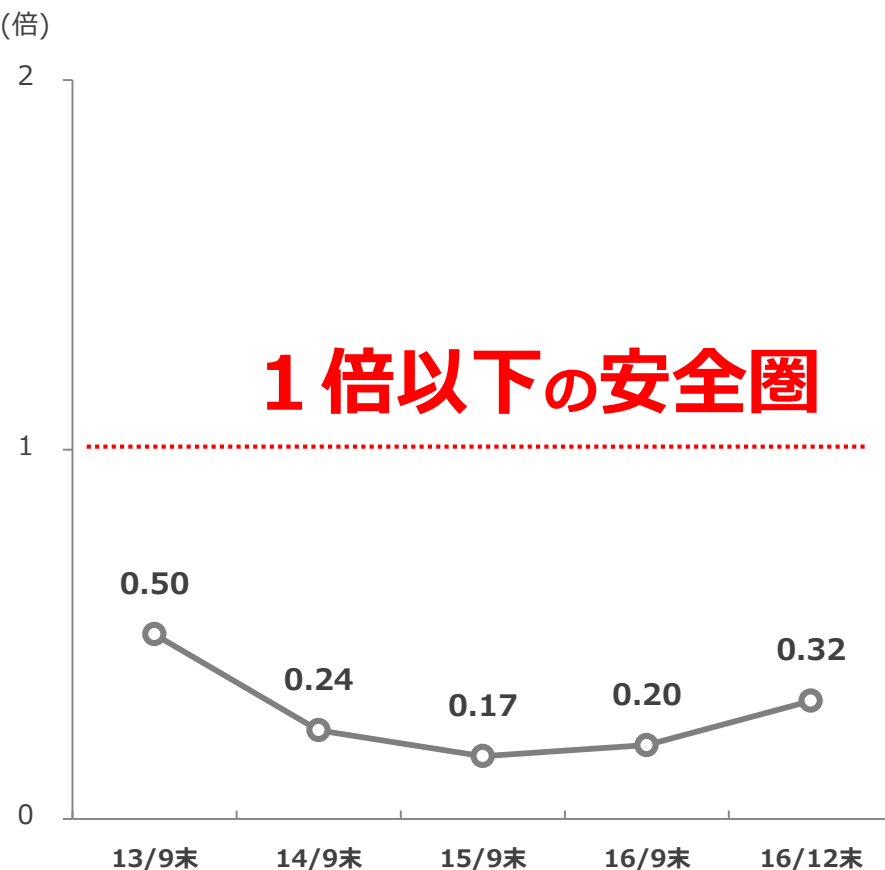
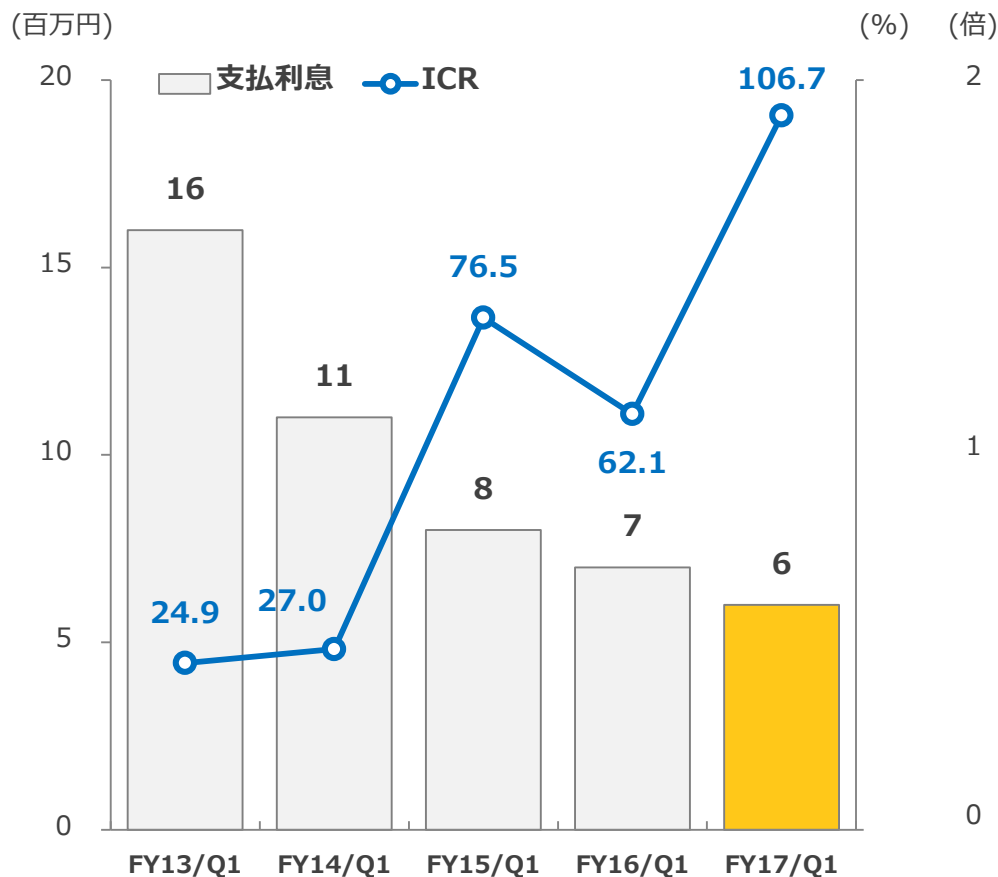


- ※ 1. 有利子負債 = 短期借入金 + 長期借入金 + 一年以内返済予定長期借入金 + 社債(リース負債含まず)
- 2. 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性
- 3. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

財務指標 (3) ICR・DER

ICR

DER



- ※ 1. インタレスト・カバレッジ・レシオ (ICR) = 事業利益 ÷ 支払利息
- 2. 事業利益 = 営業利益 + 受取利息 + 受取配当金 + 持分法による投資損益
- 3. D/Eレシオ (DER) = 有利子負債 ÷ 自己資本
- 4. 有利子負債 = 短期借入金 + 長期借入金 + 一年以内返済予定長期借入金 + 社債(リース負債含まず)

財務指標 サマリー

(百万円)

	'16年9月末	'16年12月末	増減
自己資本	12,569	12,068	▲500
自己資本比率	65.8%	58.6%	▲7.1pt.
手元流動性	8,723	8,613	▲110
有利子負債	2,536	3,895	+1,359
D/Eレシオ	0.20倍	0.32倍	0.12pt.

セグメント別概要

建築技術者派遣事業

TOPIC

1. **20四半期連続 2桁增收**
2. **単価&定着率 大幅改善**
3. **営業利益 前年比 75%増**

売上構成 4 指標

技術者数

×

稼働率

×

稼働時間

×

派遣単価



売上高

技術者数（1）採用実績

- 計画値を超える好調なスタート、1月度も200人超と堅調に推移
- 期初計画2,000人にプラスし連結子会社で500人を追加採用予定

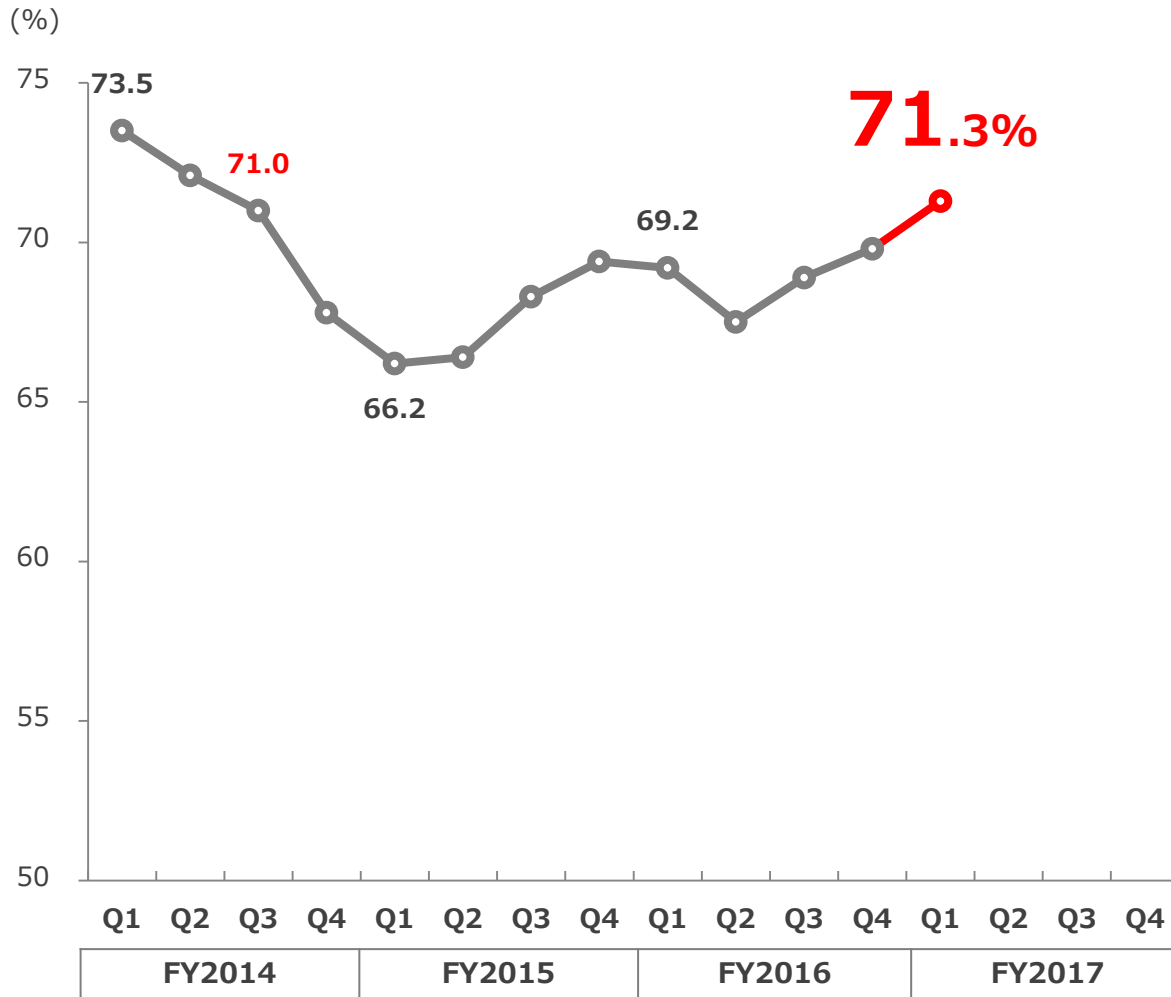
(単位：人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY17 採用計画	500			500			1,000
FY17 採用実績	553						
計画差異	+53						
FY16 採用実績	458			460			918

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY17 採用計画	500			500			1,000	2,000
FY17 採用実績								
計画差異								
FY16 採用実績	532			568			1,100	2,018

定着率の推移

- 継続的な退職防止策で2年半ぶりの70%超に改善
- 1月度以降も改善傾向継続



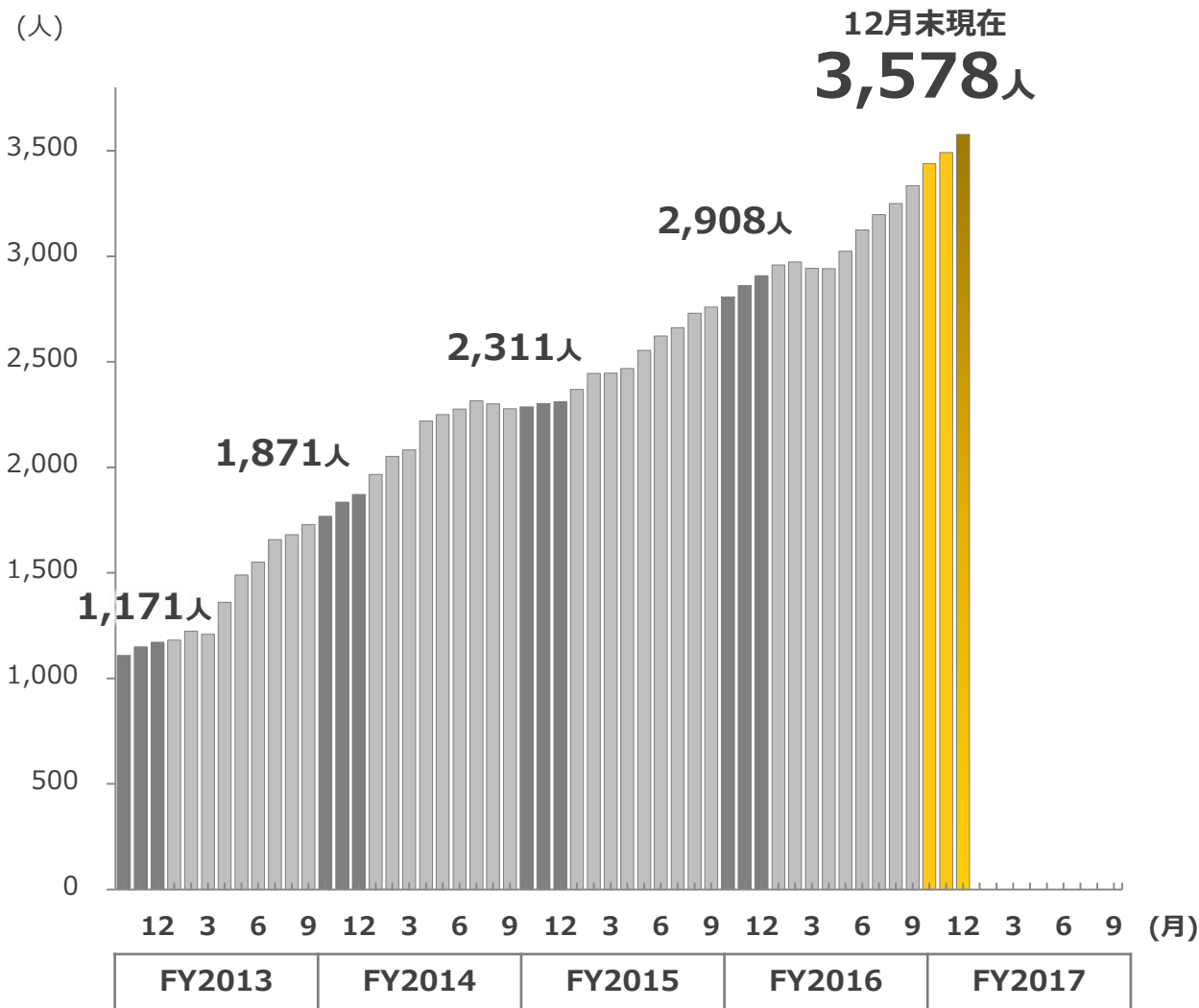
年間定着率
(各年12月末より遡って1年間)

FY14/Q1	73.5%	YoY
FY15/Q1	66.2%	▲7.3pt.
FY16/Q1	69.2%	+3.0pt.
FY17/Q1	71.3%	+2.1pt.

※ 定着率 = 集計時点在籍人数 ÷ (一年前在籍人数 + 一年間入社人数) × 100

技術者数（2） 在籍人数の推移

■ 前年同月末比 670人増加 (+23.0%)



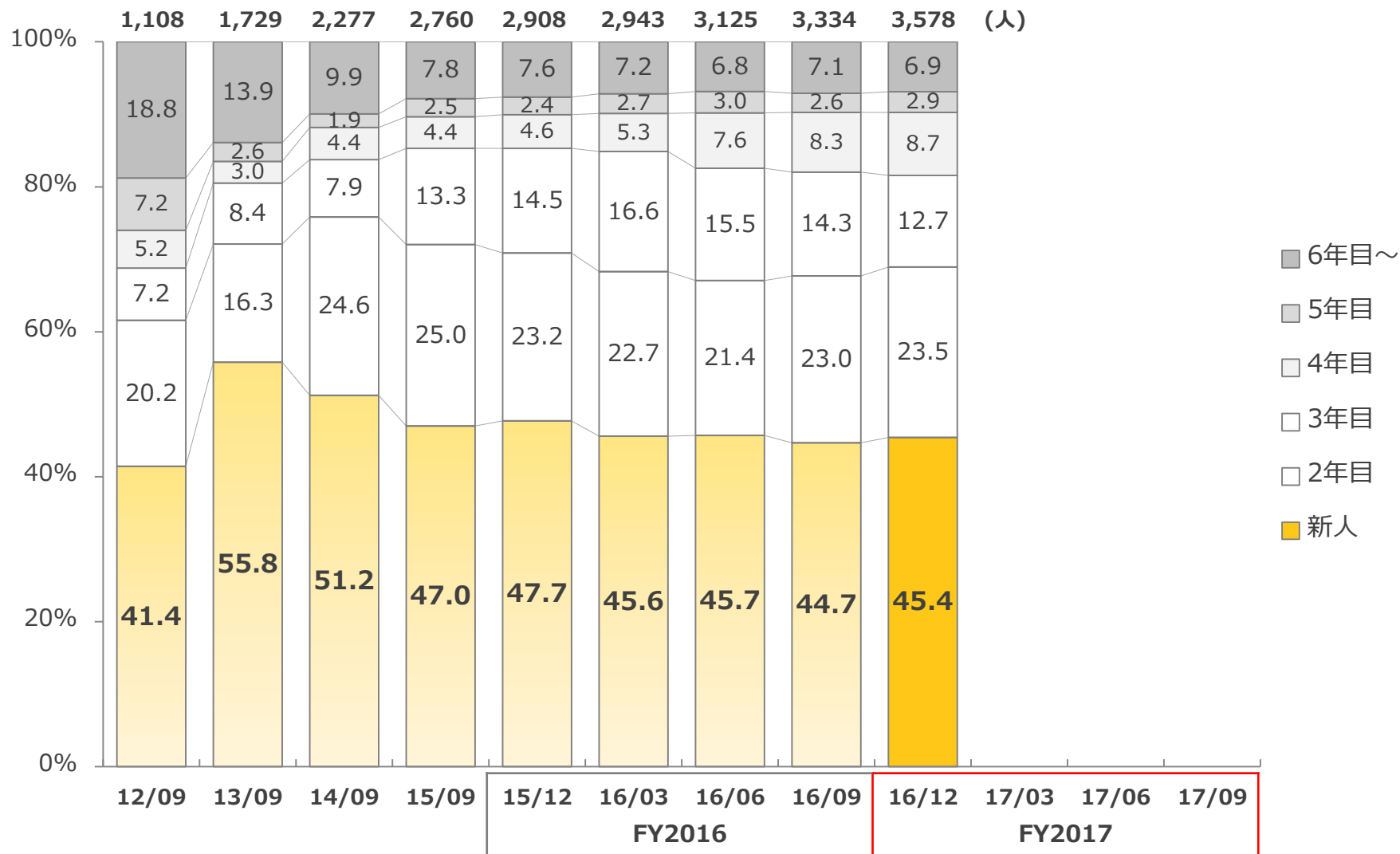
平均技術者数
3ヶ月平均 (10~12月)

FY	人数	YoY
FY13/Q1	1,143人	
FY14/Q1	1,825人	+59.6%
FY15/Q1	2,300人	+26.1%
FY16/Q1	2,859人	+24.3%
FY17/Q1	3,503人	+22.5%

※ 各月末技術者数

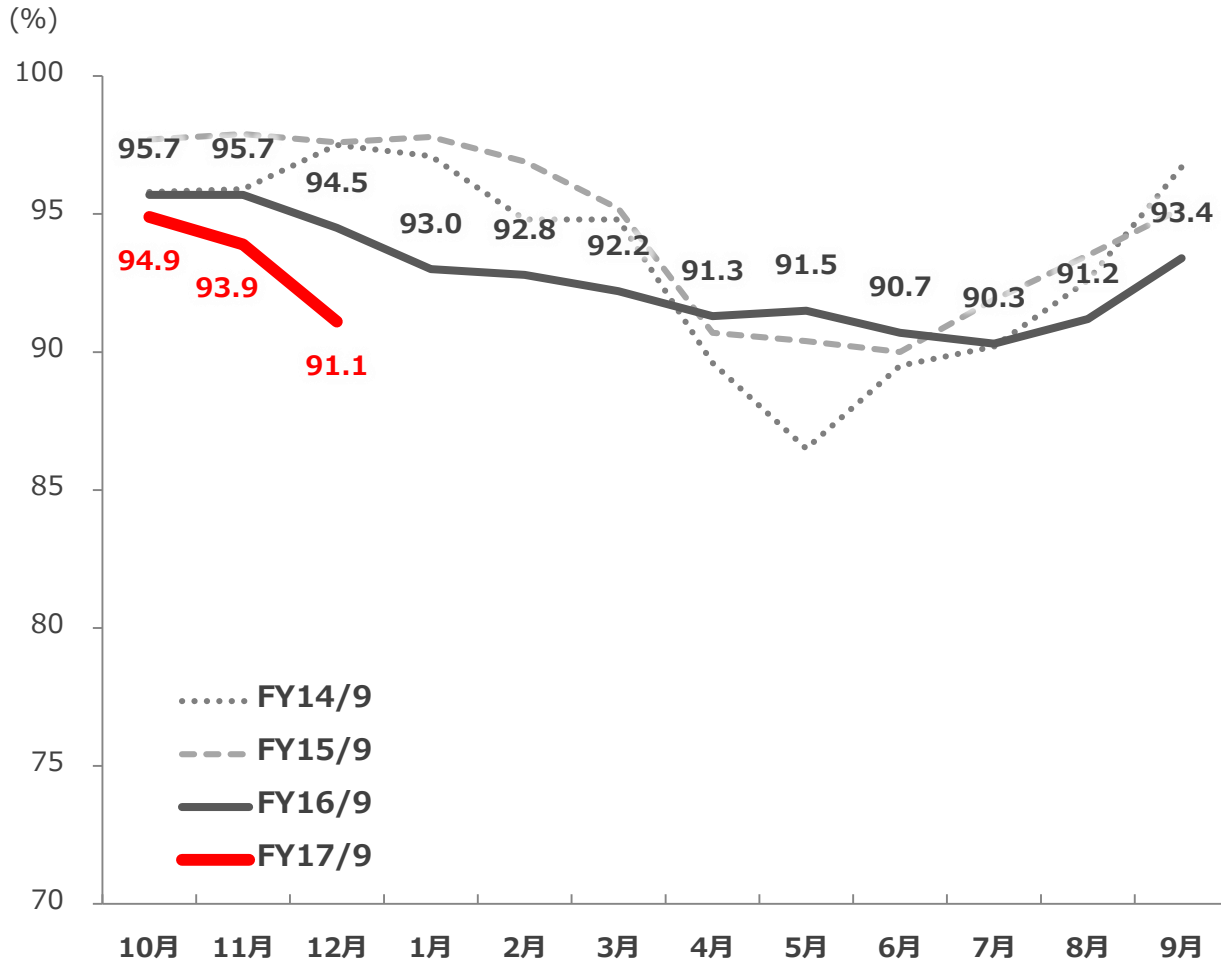
技術者数 (3) 在籍年数別の割合

■ 定着率上昇から新人比率微増も経験4年以上の技術者割合が順調に拡大



稼働率の推移

■ 採用が好調のため稼働率は低下



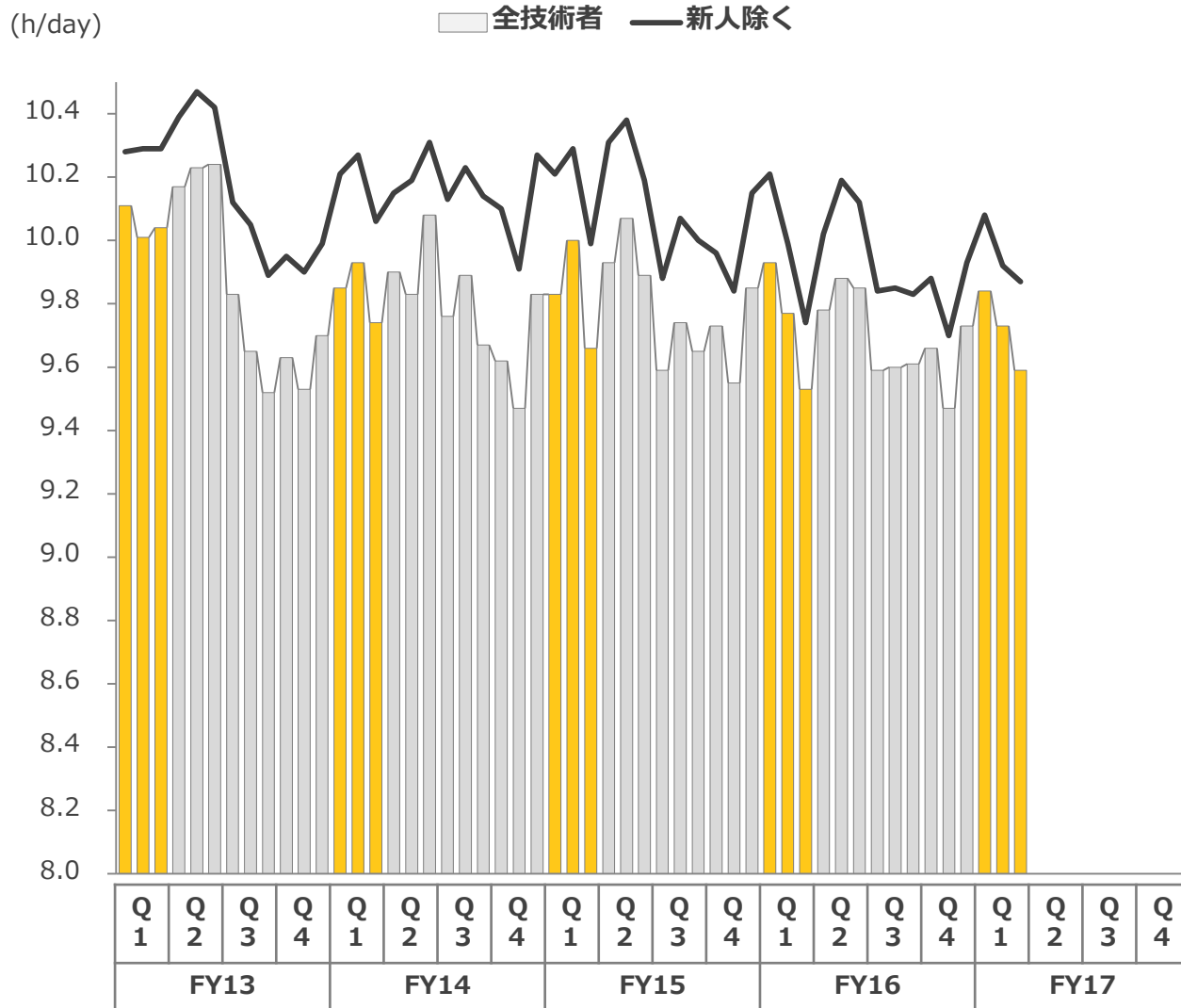
稼働率
3ヶ月平均 (10～12月)

年次	稼働率	YoY
FY14/Q1	96.4%	YoY
FY15/Q1	97.7%	+1.3pt.
FY16/Q1	95.3%	▲2.4pt.
FY17/Q1	93.3%	▲2.0pt.

Q1	Q2	Q3	Q4
----	----	----	----

稼働時間の推移

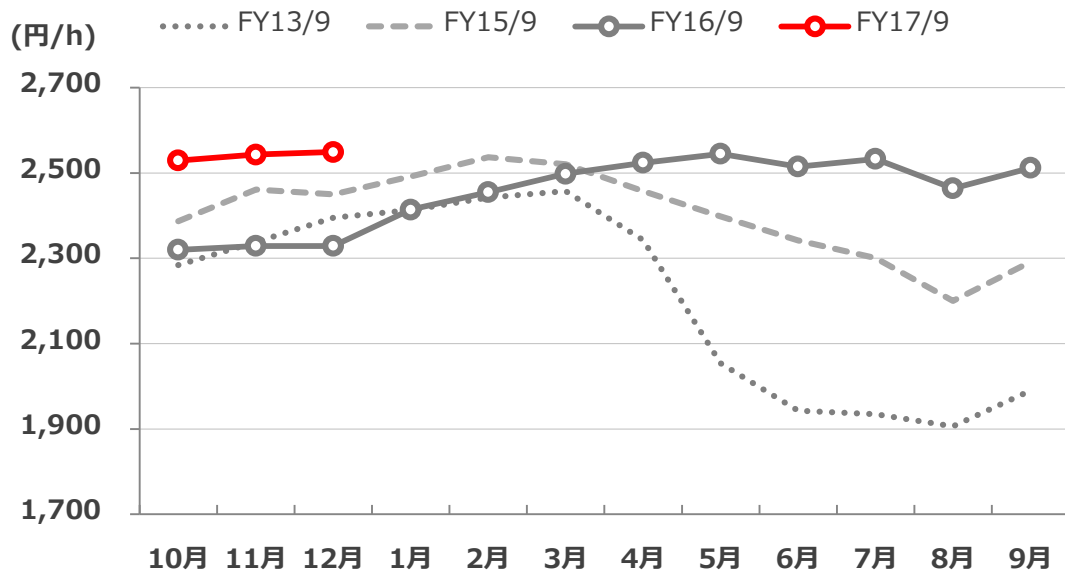
■ 「働き方改革」などの労務管理意識の高まりにより稼働時間は減少傾向



全技術者 稼働時間
3ヶ月平均 (10~12月)

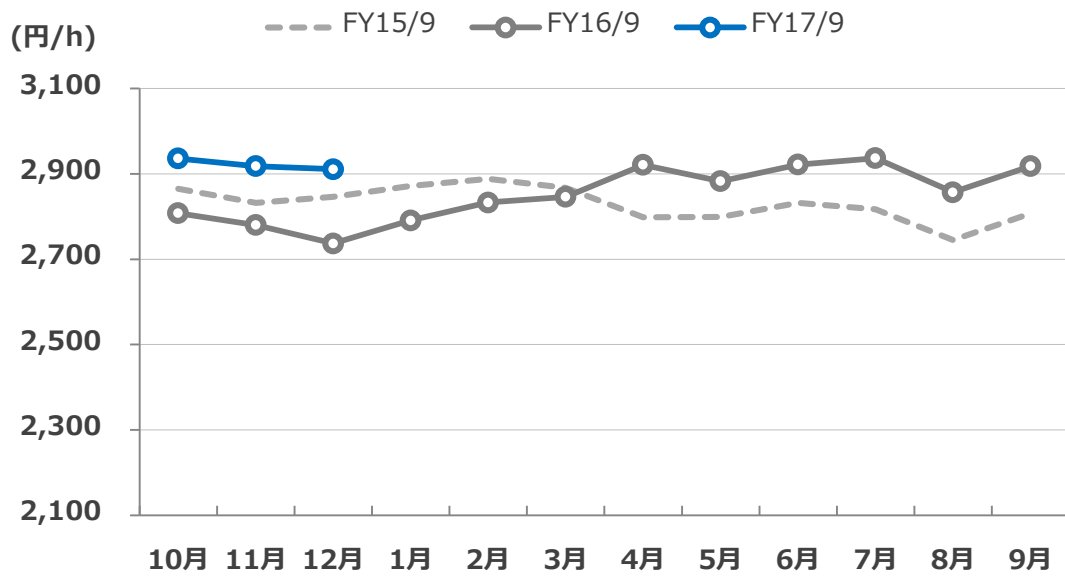
FY13/Q1	10.05h	YoY
FY14/Q1	9.84h	▲2.1%
FY15/Q1	9.83h	▲0.1%
FY16/Q1	9.74h	▲0.9%
FY17/Q1	9.72h	▲0.2%

派遣単価（１）新人・2年目の推移



新人のみ
3ヶ月平均（10～12月）

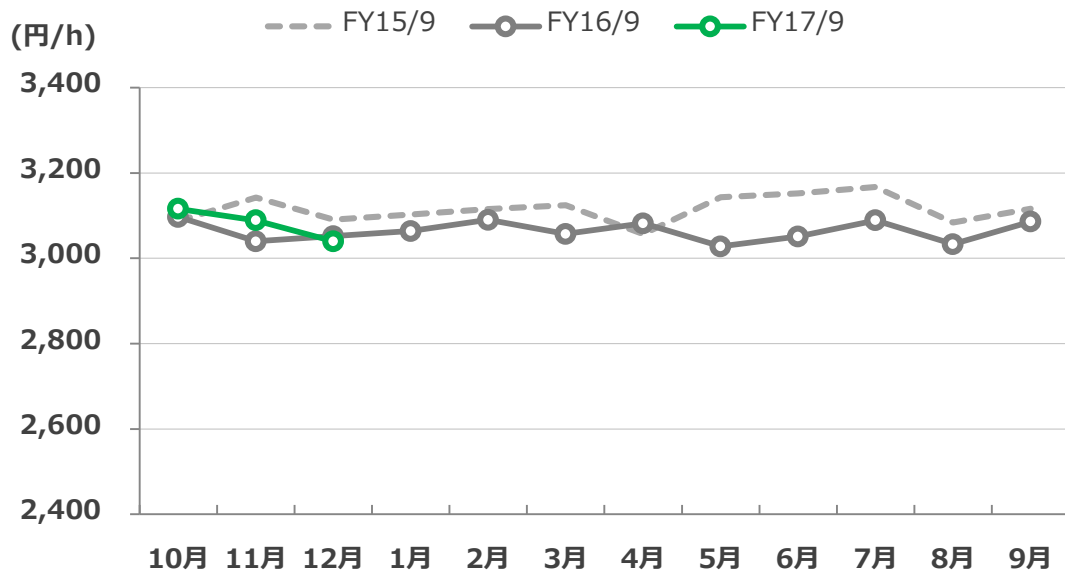
年次	単価 (円/h)	YoY
FY13/Q1	2,339	
FY15/Q1	2,433	+12.1%
FY16/Q1	2,326	▲4.4%
FY17/Q1	2,540	+9.2%



2年目のみ
3ヶ月平均（10～12月）

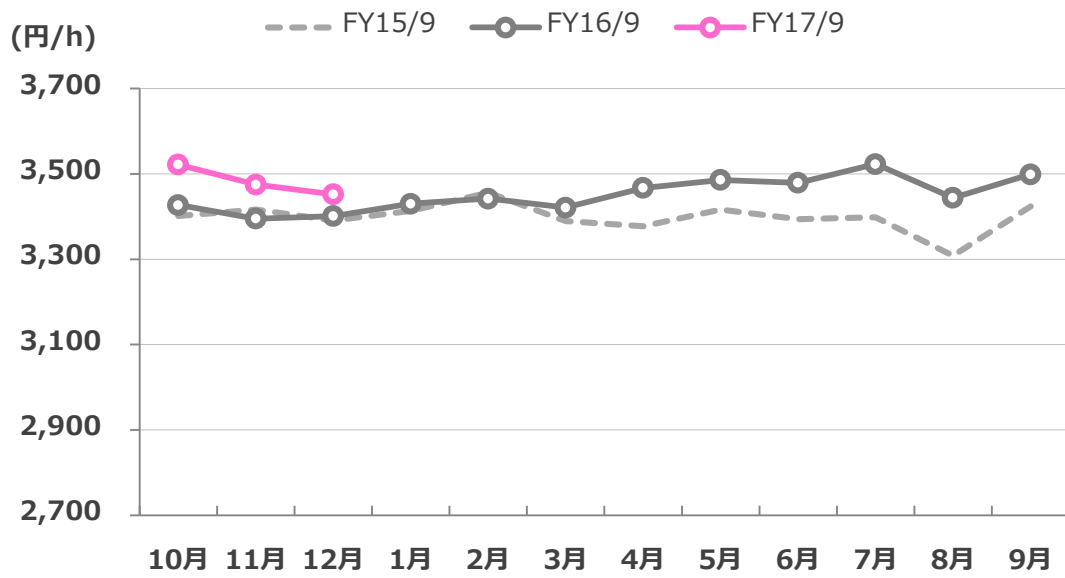
年次	単価 (円/h)	YoY
FY15/Q1	2,848	
FY16/Q1	2,775	▲2.6%
FY17/Q1	2,922	+5.3%

派遣単価（2）3年目・4年目以降の推移



3年目のみ
3ヶ月平均（10～12月）

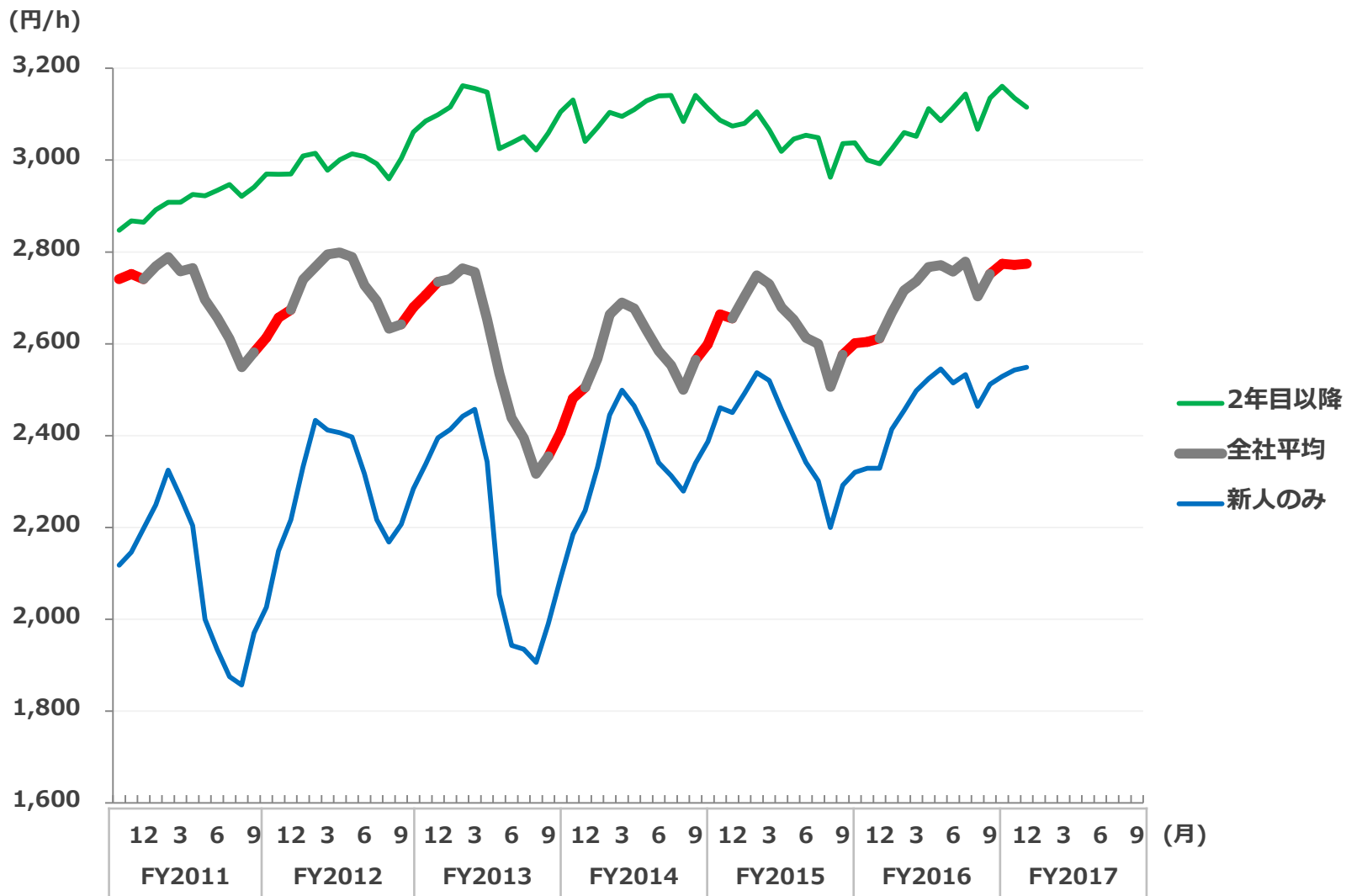
年次	単価 (円/h)	YoY
FY15/Q1	3,107	YoY
FY16/Q1	3,063	▲1.4%
FY17/Q1	3,082	+0.6%



4年目以降
3ヶ月平均（10～12月）

年次	単価 (円/h)	YoY
FY15/Q1	3,403	YoY
FY16/Q1	3,408	+0.1%
FY17/Q1	3,483	+2.2%

派遣単価 (3) 中期推移



全社平均 (Q1/3ヶ月)	2,745円	2,648円	2,707円	2,464円	2,639円	2,606円	2,773円
	YoY	▲3.5%	+2.2%	▲9.0%	+7.1%	▲1.3%	+6.4%

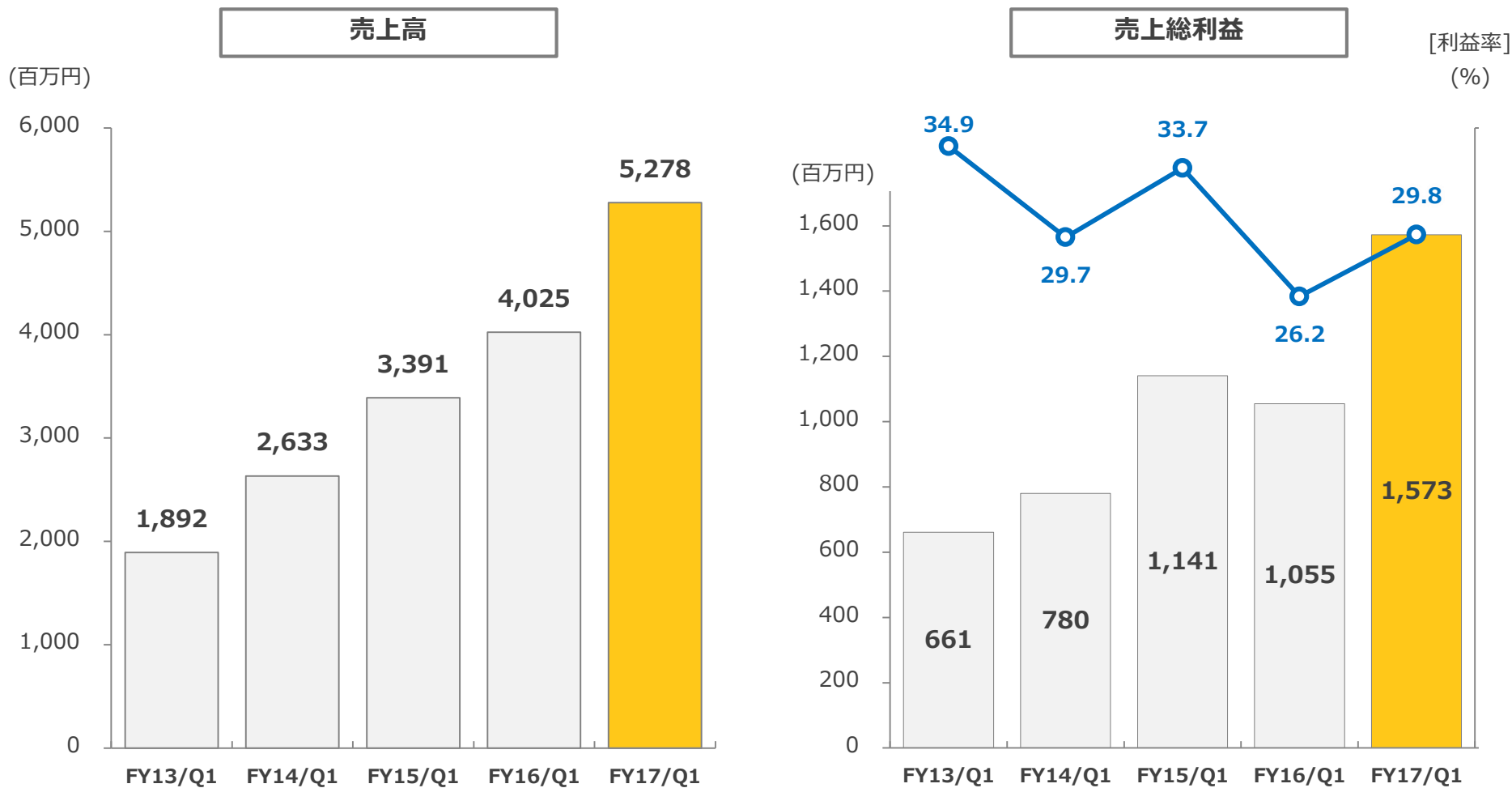
会計 売上構成4指標 サマリー

全技術者 3ヶ月平均 (10~12月)

	FY16/Q1 (会計)	FY17/Q1 (会計)	増減	増減率
技術者数	2,859人	3,503人	+644人	+22.5%
稼働率	95.3%	93.3%	▲2.0pt.	—
稼働時間	9.74h	9.72h	▲0.02h	▲0.2%
派遣単価	2,606yen	2,773yen	+167yen	+6.4%

単体P/L (1) 売上高・売上総利益 (累計)

- 売上高 ⇒ 順調に技術者増員 26四半期連続で前年比増収 +31%
- 売上総利益 ⇒ 需給の逼迫で単価上昇 創業以来初の四半期15億円超え +49%

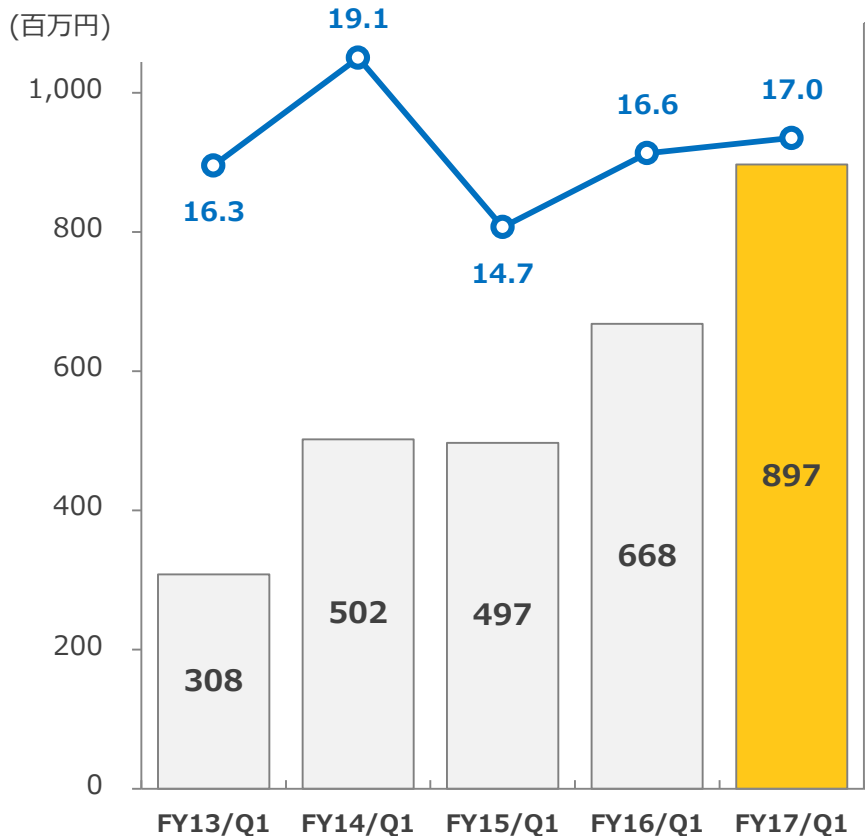


単体P/L (2) 販管費・営業利益 (累計)

- 販売費及び一般管理費 ⇒ 採用費(+98)および人件費の増加(+78) +34%
- 営業利益 ⇒ 売上総利益の改善で販管費増こなし大幅増益 +75%

販売費及び一般管理費

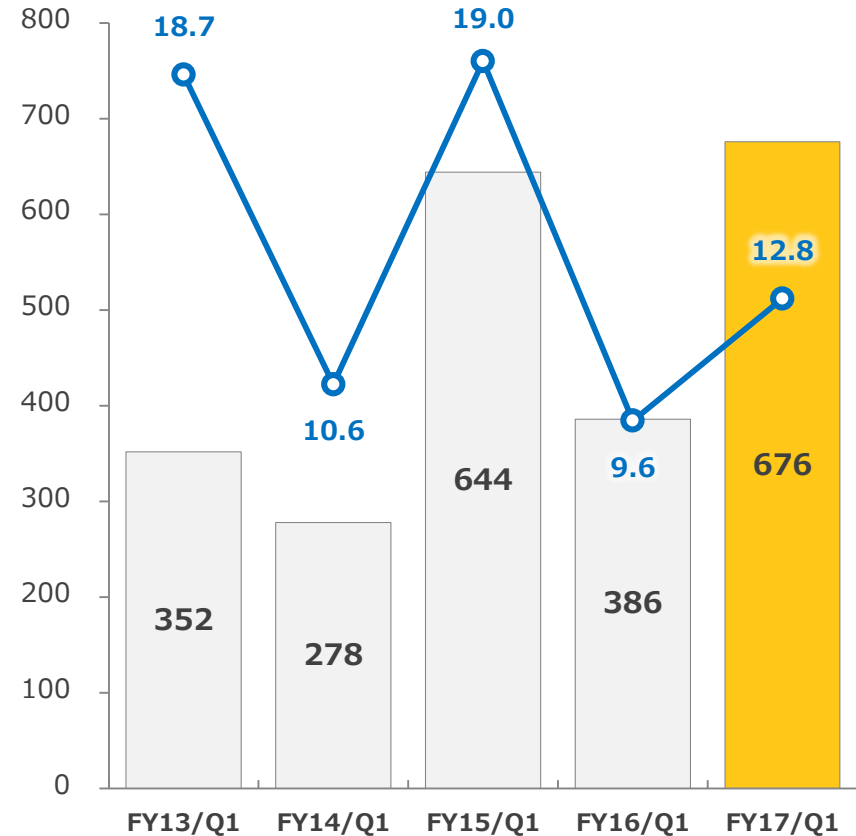
[売上比率]
(%)



営業利益

[利益率]
(%)

(百万円)



単体 P/L サマリー

(百万円)

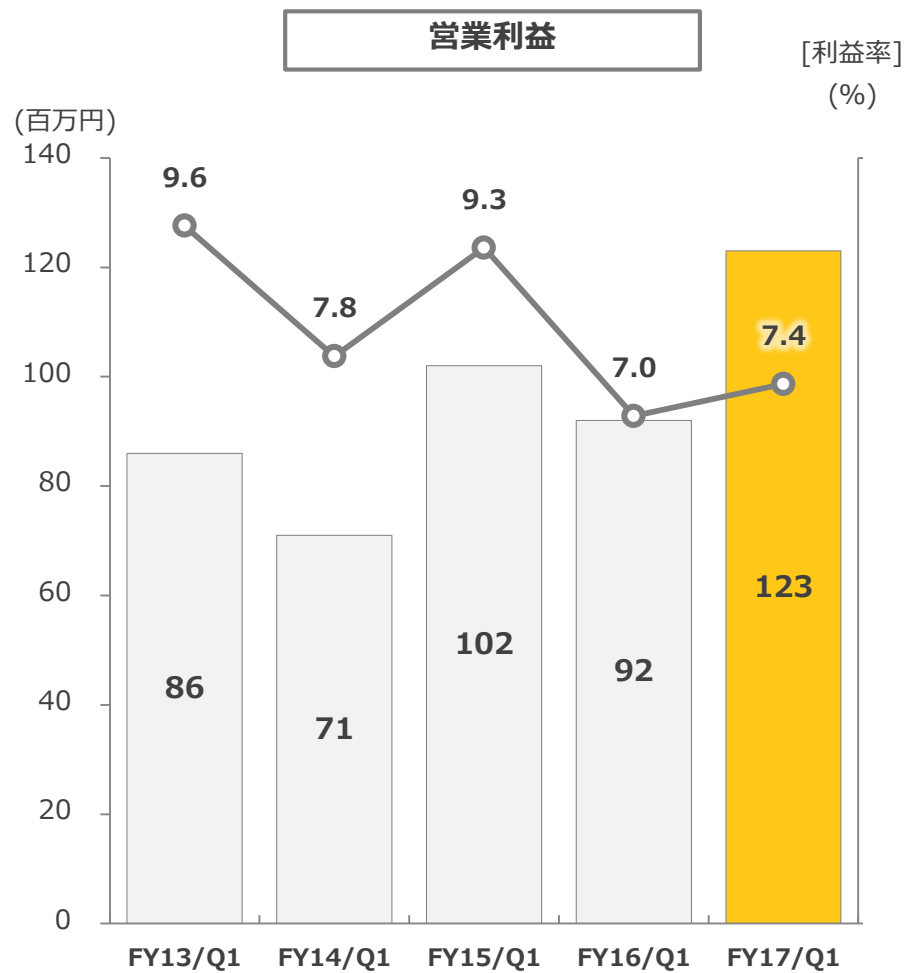
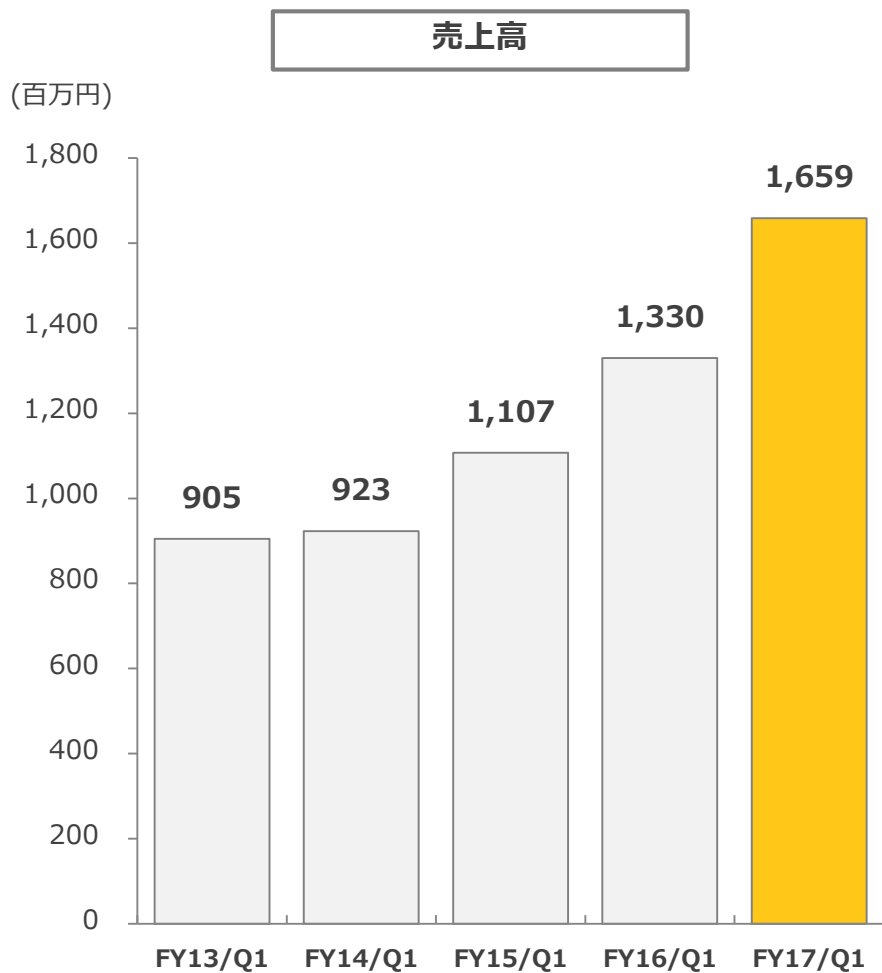
	FY16/Q1	FY17/Q1	増減額	増減率
売上高	4,025	5,278	+1,252	31.1%
売上総利益	1,055 (26.2%)	1,573 (29.8%)	+518	49.1%
販売費及び一般管理費	668 (16.6%)	897 (17.0%)	+228	34.2%
営業利益	386 (9.6%)	676 (12.8%)	+289	74.8%
経常利益	406 (10.1%)	759 (14.4%)	+353	86.9%
当期純利益	266 (6.6%)	531 (10.1%)	+265	99.5%

※ () = 売上高比率

エンジニア派遣事業

エンジニア派遣事業 (1) サマリー

- 売上高 ⇒ 積極採用により稼働人数増加 25%増収
- 営業利益 ⇒ 売上総利益率が5年ぶりに26%水準 33%増益



エンジニア派遣事業（2）採用実績

- 4～6月の端境期にて派遣単価を維持するため
- 期初採用計画675人にプラスし関連会社で500人を追加採用予定

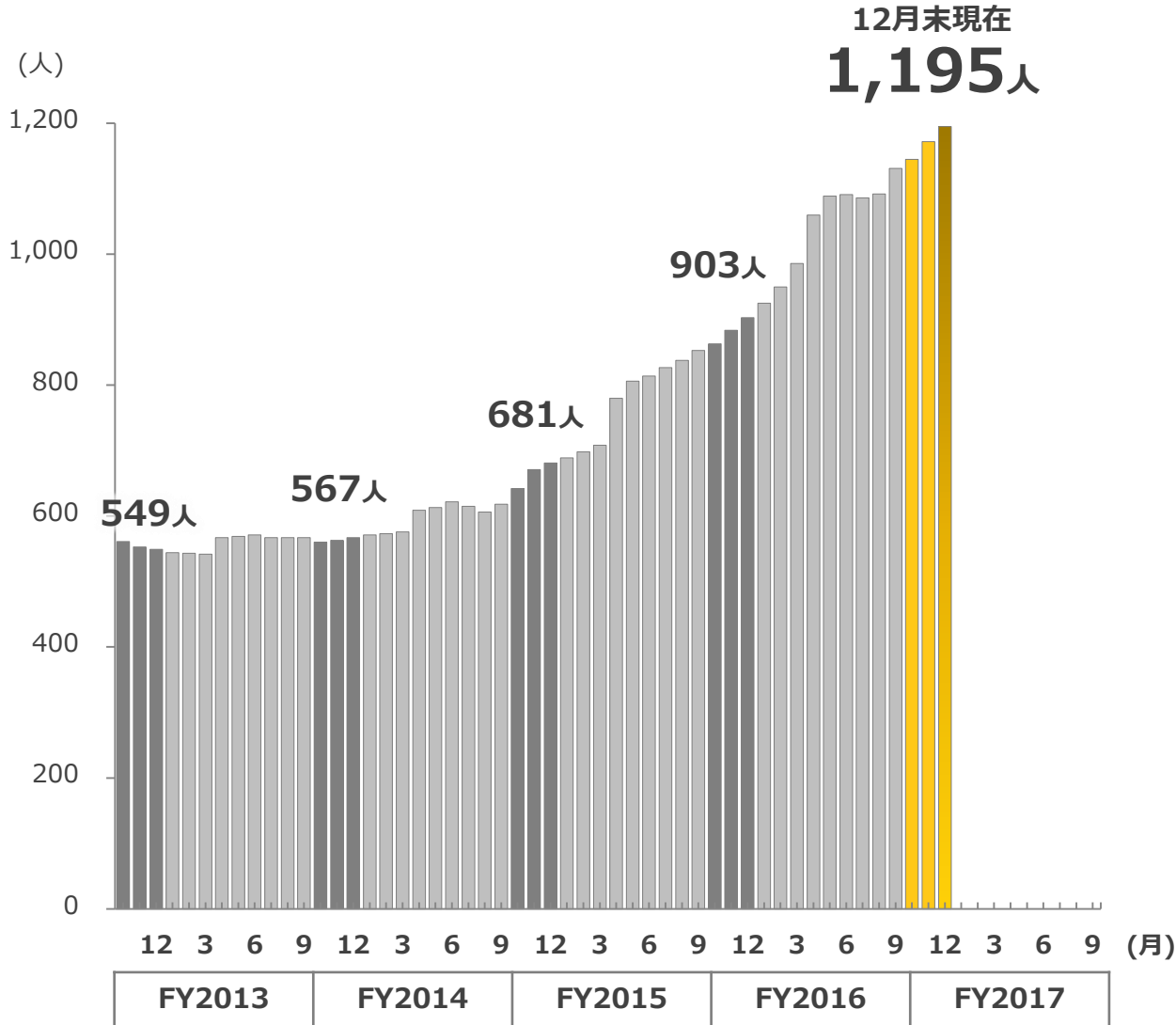
(単位：人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY16 採用実績	88			110			198
FY17 採用実績	107						
前年比	+19						

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY16 採用実績	164			98			262	460
FY17 採用実績								
前年比								

エンジニア派遣事業 (3) 在籍人数の推移

■ 前年同月末比 292人増加 (+32.3%)



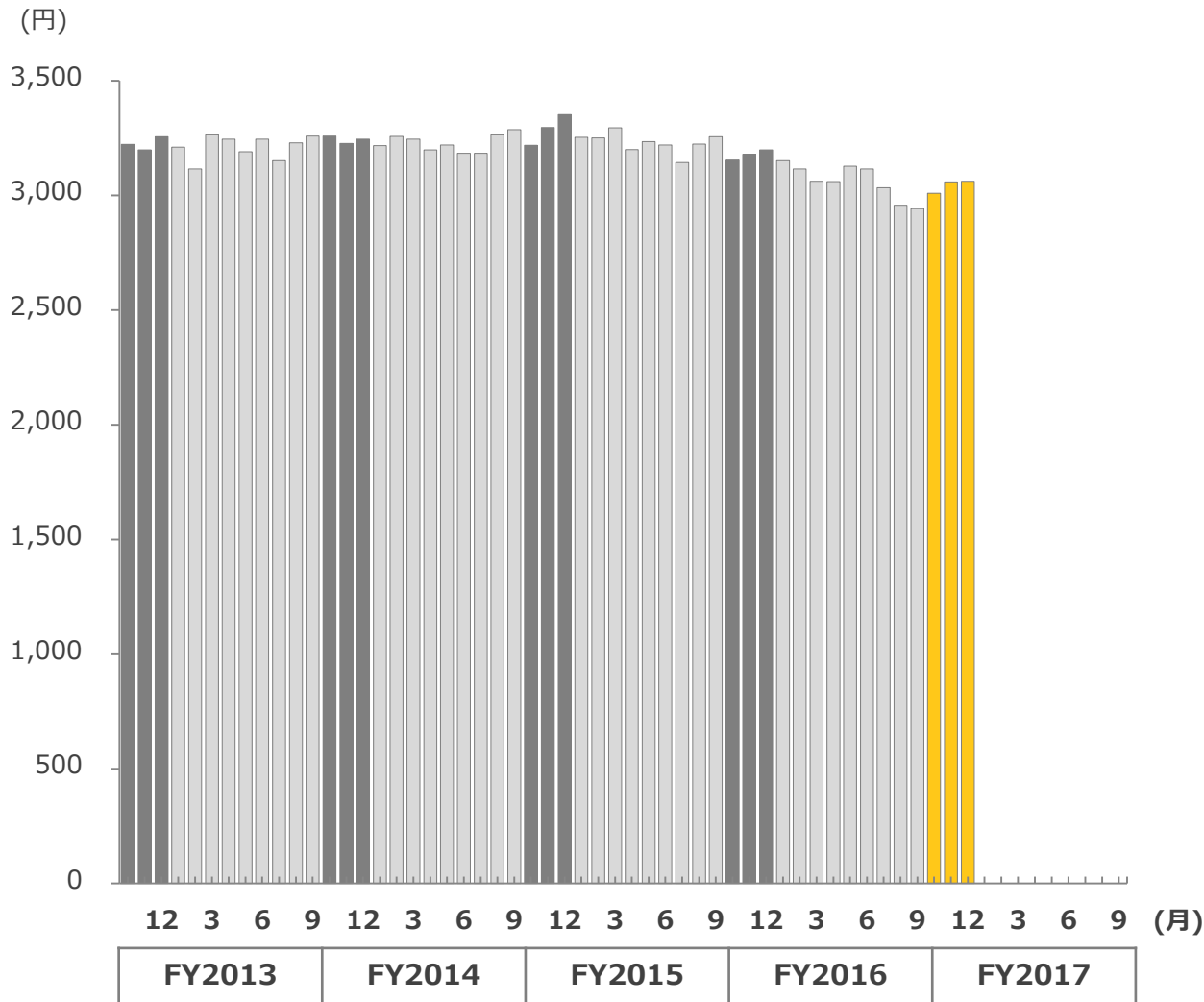
平均技術者数
3ヶ月平均 (10~12月)

FY	平均技術者数	YoY
FY13/Q1	554人	
FY14/Q1	563人	+1.6%
FY15/Q1	665人	+18.0%
FY16/Q1	883人	+32.9%
FY17/Q1	1,171人	+32.5%

※ 各月末技術者数

エンジニア派遣事業（４）派遣単価の推移

■ 大量採用による若手エンジニアの増加により前年同期比 134円減少

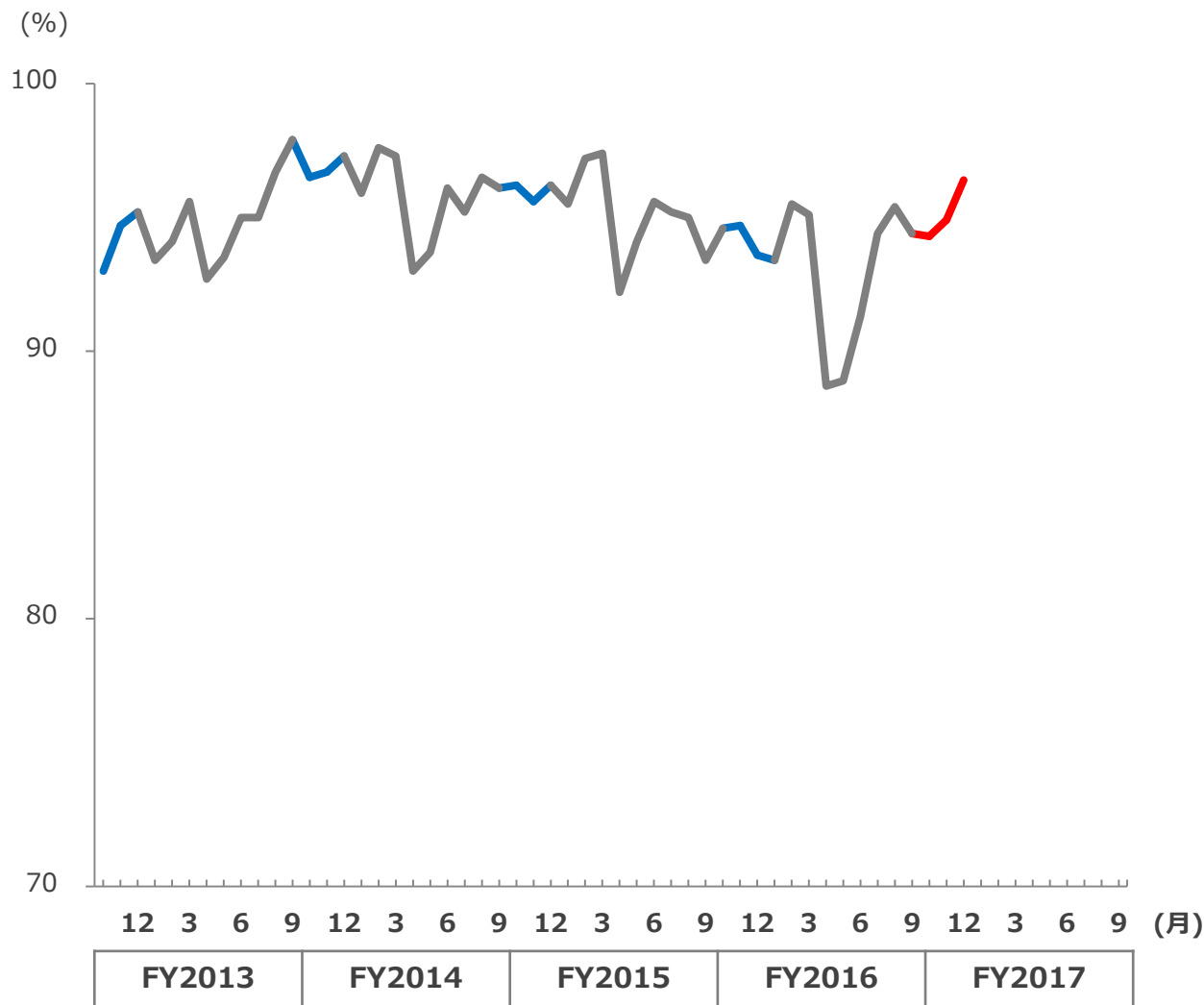


平均技術者数
3ヶ月平均 (10~12月)

FY	派遣単価 (円)	YoY
FY13/Q1	3,226円	YoY
FY14/Q1	3,244円	+0.5%
FY15/Q1	3,290円	+1.4%
FY16/Q1	3,177円	▲3.4%
FY17/Q1	3,043円	▲4.2%

エンジニア派遣事業 (5) 稼働率の推移

■ R&D部門のサポート部門を新規開拓 採用増加も需給の逼迫で上昇



平均技術者数
3ヶ月平均 (10~12月)

FY	稼働率 (%)	YoY
FY13/Q1	94.3%	YoY
FY14/Q1	96.8%	+2.5pt.
FY15/Q1	96.0%	▲0.8pt.
FY16/Q1	94.3%	▲1.7pt.
FY17/Q1	95.2%	+0.9pt.

※ 各月末技術者数

2017年9月期
第2四半期～

2017年9月期 連結業績予想

(百万円)

	FY2016 実績	FY2017 予想	増減率	進捗率
売上高	23,270	30,800	32.4%	22.7%
営業利益	2,433	3,600	47.9%	17.9%
経常利益	2,463	3,600	46.2%	20.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,622	2,100	29.4%	20.3%
1株当たり純利益	21.76円	28.16円	29.4%	20.3%

前期施策の精度を高める

1. 派遣単価の引上と維持
2. 2,000人採用の継続
3. 継続的な定着率の改善

2017年9月期

経営戦略

採用戦略（1）定着率の推移

- 低下した定着率は継続的な改善策でFY2015以降改善傾向に
- FY2017はFY2013以来の70%以上を目標

定着率の推移		FY2014	FY2015	FY2016	FY2017 計画
年間定着率		67.8%	69.4%	69.8%	72.0%以上
	前年比	▲6.1pt.	+1.6pt.	+0.4pt.	+2.2pt.
年間採用人数		1,628人	1,702人	2,018人	2,000人
期末技術者数		2,277人	2,760人	3,334人	3,960人
純増人数		548人	483人	574人	626人

※ 定着率 = 集計時点在籍人数 ÷ (一年前在籍人数 + 一年間入社人数) × 100

採用戦略（2） 定着率の改善施策

全技術者向けフォロー戦略

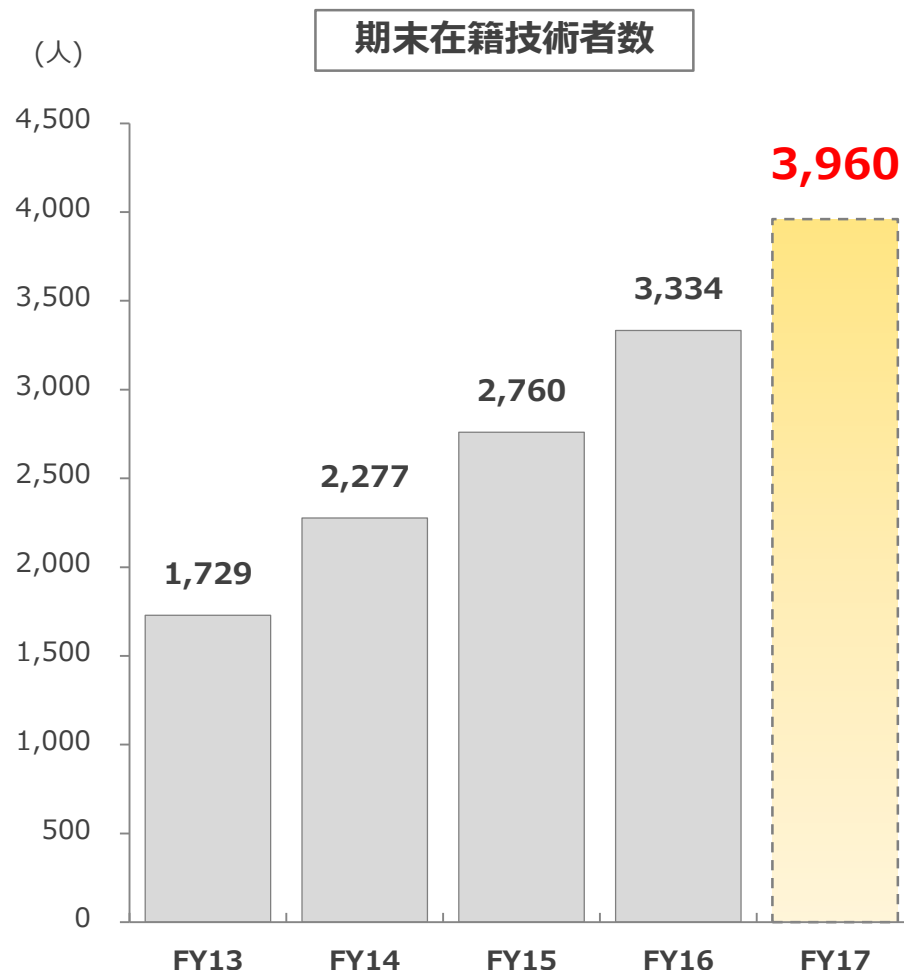
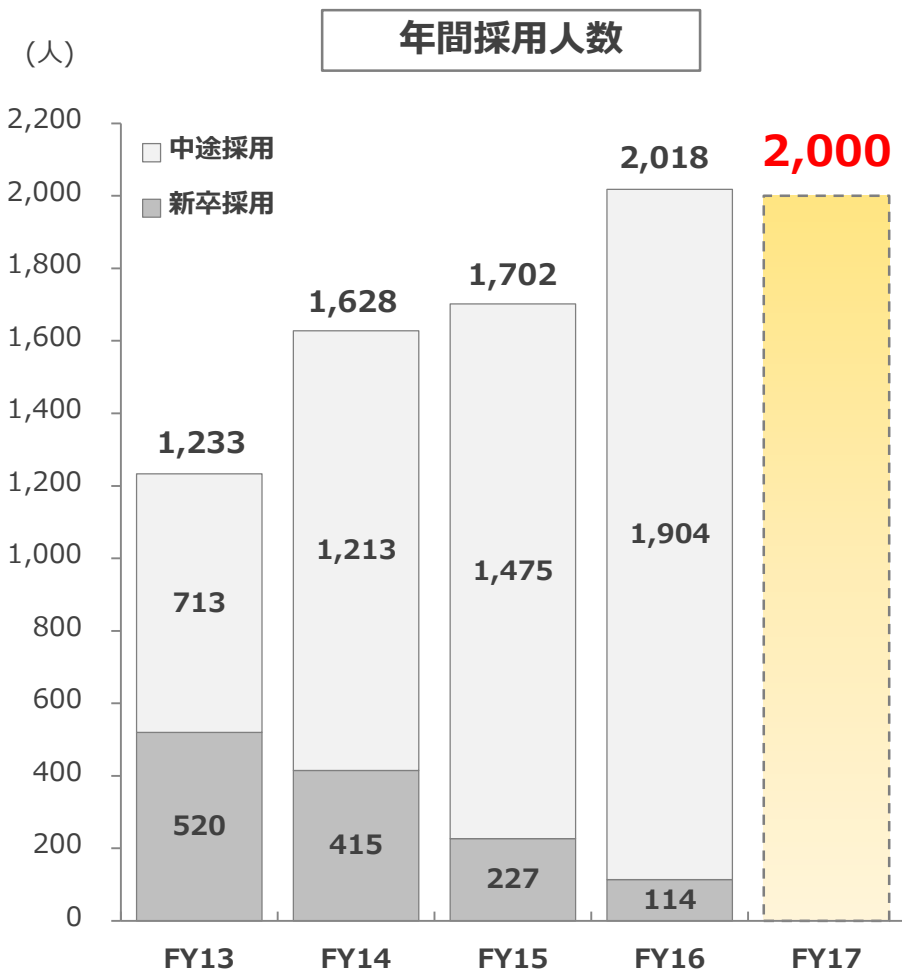
1. キャリアプランの作成
2. 定期的に情報共有の場を提供
3. サークル活動の推進・補助
4. 待機期間も100%給料保証
5. 資格取得の補助・推進
6. 資格手当の細分化
7. 定期的なスキルチェック
8. 研修旅行制度

新入社員へのフォロー戦略

1. 初現場へ派遣後、1ヶ月間 毎週ヒアリングを実施
⇒ 問題を早期発見 → 現場の入替などでフォロー
2. 入社から3ヶ月、6ヶ月、1年ごとに研修を実施
⇒ 現場で必要なスキルを定期的にフォロー
3. 研修時にグループ・パートナー制を導入（3月スタート）
⇒ 同期との繋がりを深化 → 帰属意識を醸成

採用戦略（3） 目標とする在籍技術者数

- 4月の新卒者一斉入社による稼働率の低下防止のため中途入社人数増加
- 2017年9月末に626人(18.8%)増加の3,960人目標



営業戦略（1）外部環境・施策

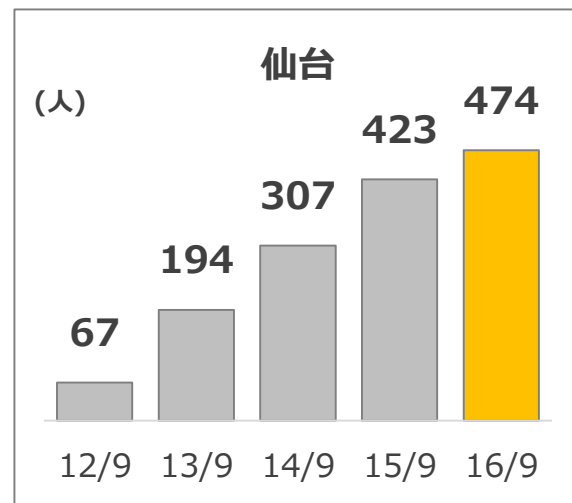
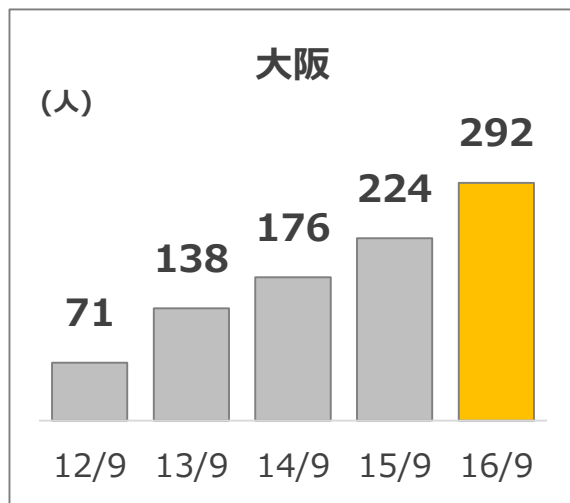
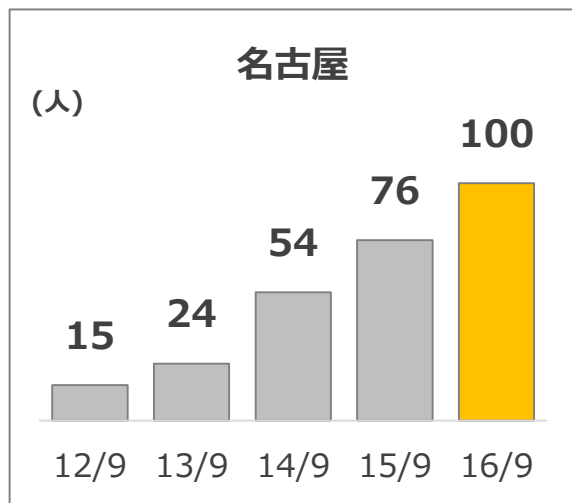
外部環境

- 若手・未経験者を活用するゼネコンが増加 ⇒ スーパーゼネコンにも波及
- 首都圏・東北が引き続き牽引も ⇒ 大阪・名古屋 派遣人数が合わせて5倍に
- 熊本の震災復旧・復興工事により九州地方への派遣が期初から2.5倍に

営業戦略

1. 派遣単価の引き上げ交渉を継続
2. 新規開拓とともに各ゼネコン地方支店への販路拡大
3. 一定の残業時間を見込める現場へシフト
4. 2016年度は広島、北海道、金沢および静岡で営業活動をスタート

営業所別 技術者数の推移



営業戦略（2）女性技術者の拡充

女性技術者の特徴

- 建築現場にも女性活用の流れ
- CADオペレーターは1～2年と派遣期間が長期

拡充政策

1. 女性施工管理技術者 育成
2. CADオペレーターの単価上昇
3. 10～20人/月 採用予定

女性技術者の比率

(%)



FY2013	FY2014	FY2015	FY2016
Q2	Q4	Q2	Q4



重要施策まとめ

1. 稼働人数

- ・ 2,000人採用
- ・ 継続的なフォロー施策で定着率改善
- ・ 女性技術者の積極採用

2. 稼働率

- ・ 端境期である4~6月に向け採用抑制
- ・ 事務作業軽減 ⇒ 営業効率化で高稼働率へ
- ・ 地方営業所のさらなる活性化 ⇒ 販路拡大

3. 稼働時間

- ・ 契約更新時に残業を見込める現場へシフト

4. 派遣単価

- ・ 継続的なフォロー研修で高付加価値へ
- ・ 契約単価に重点を置いた評価制度

新規事業について

新規事業について

2030年に世界で2,000万人不足

1. IT人材の育成

他業界から遅れており国が後押し

2. 建設業界IT化

直近の業務提携等まとめ

会社名	設立・提携日	事業内容	関係
株式会社ダズル	5月27日	VR関連事業	関連会社化
株式会社LinkPro	5月31日	画像処理システム	資本業務提携
株式会社ヴァルハラゲームスタジオ	6月22日	ゲーム開発	業務提携
ソフィアメディクス株式会社	7月19日	医療IT、金融IT	業務提携
株式会社ギャラクシー	7月22日	建設現場のIT化	子会社化
株式会社ソーシャルフィンテック	8月19日	FXトレードシステム	子会社化
一般財団法人建設技術情報センター	8月31日	講習会、資格取得講座	事業取得
BTCボックス株式会社	8月31日	ビットコイン取引所	関連会社化
株式会社マインドシフト	9月27日	AIサポート事業	資本業務提携
ギアヌーヴ株式会社	10月14日	建設現場のIT化	関連会社化
株式会社エクストリーム・スポーツ	11月1日	スポーツ関連事業	子会社設立
SELF株式会社	11月14日	AIを使ったアプリの開発	資本業務提携
株式会社バイシンク	11月14日	デジタルサイネージ	資本業務提携
Keepdata株式会社	11月30日	ビッグデータの利活用	子会社化

公開買付及び資本業務提携の実施



買付期間

2016年9月29日～11月11日

13.09%取得（議決権ベース）

日本サード・パーティ株式会社
(JASDAQ : 2488)

1. 海外企業を対象とした

IT技術アウトソーシング

2. 日本最大規模のトレーニング施設での

ITエンジニア育成

中期経営計画

(百万円)

	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019
売上高	23,270	30,800	36,000 ~40,000	43,000 ~50,000
営業利益	2,433	3,600	5,000 ~6,000	6,500 ~8,000
営業利益率	10.5%	11.7%	13.9% ~15.0%	15.1% ~16.0%
当期純利益	1,622	2,100	3,000 ~3,500	4,000 ~5,000
EPS	21.76円	28.16円	40円 ~46円	53円 ~67円

年間採用人数

(人)

建築技術者派遣事業	2,018	2,000	2,000	2,000
エンジニア派遣事業	460	675	900	1,200

株主還元

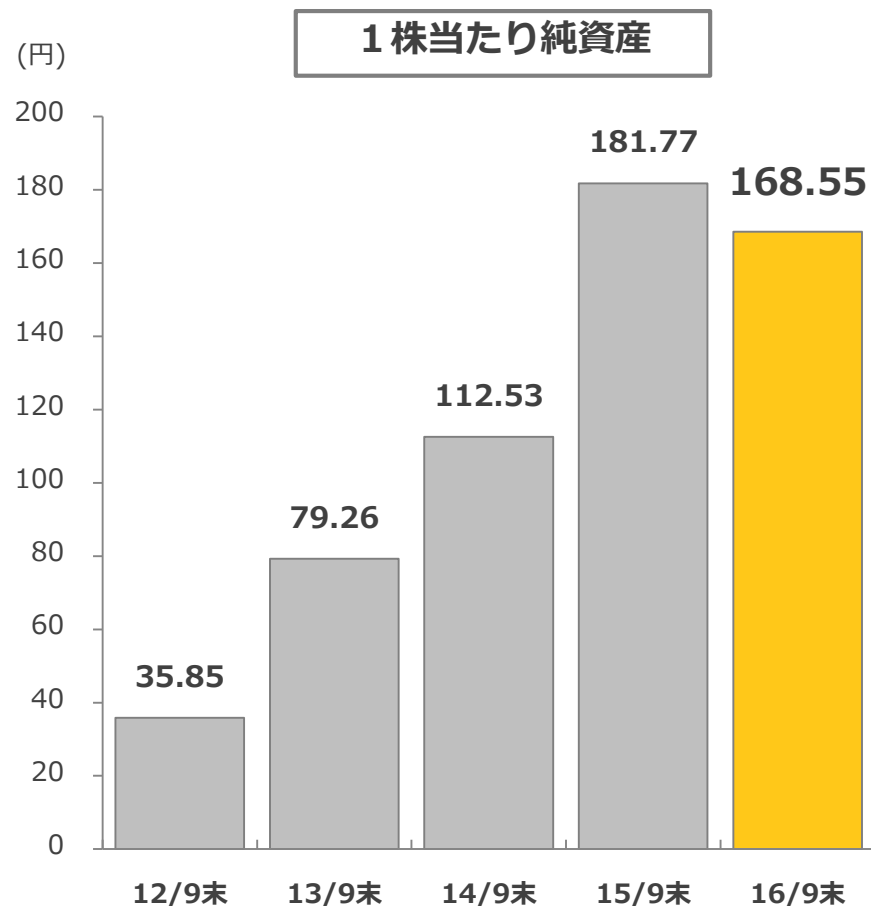
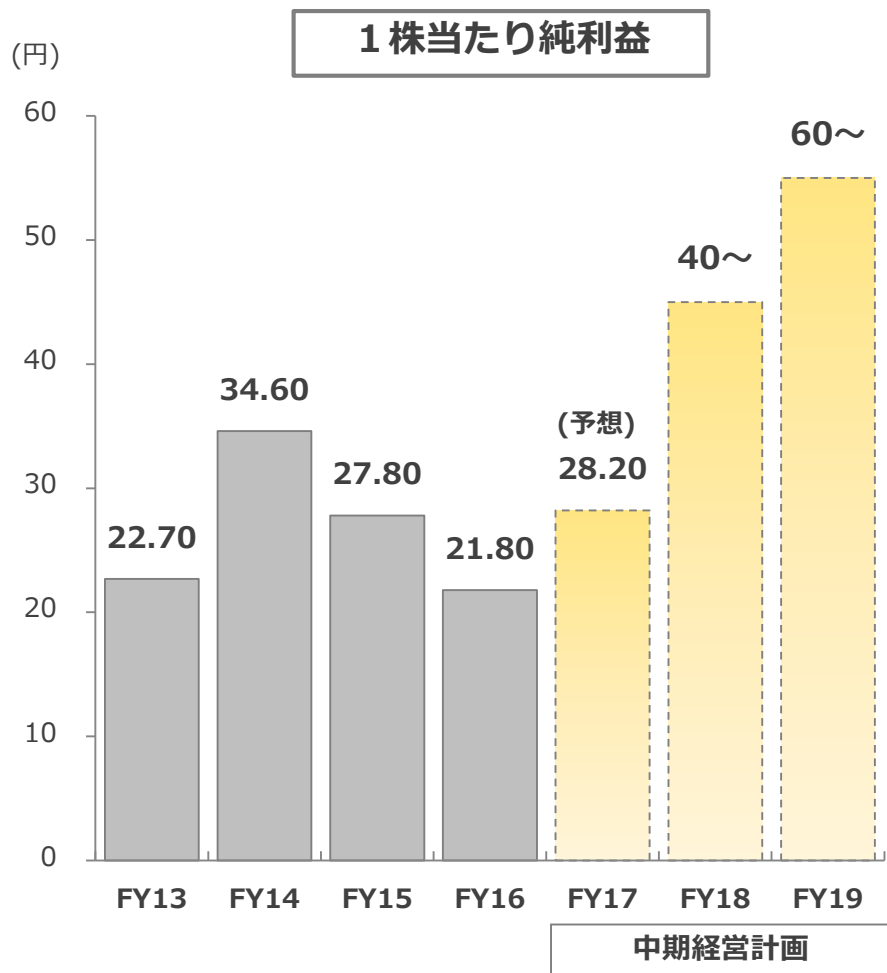
株主還元

中期株主還元方針

- ① 2017年9月期まで目標配当性向100%とし、その後も事業の成長に連動した高配当方針とします。
- ② 1株あたり純利益の向上を意識した経営を進めます。
- ③ 下記2つの理由から東証1部への市場変更を目指します。
 - i. 事業⇒ 採用力の強化および定着率の改善のため
 - ii. 株式⇒ 流動性の向上および株主層の拡大のため

株主還元（1） 1株当たり純利益・純資産

- 1株当たり純利益 ⇒ 自己株式の処分による株式数の増加で一時的に減益も事業再編による利益率の改善でFY17以降は上昇

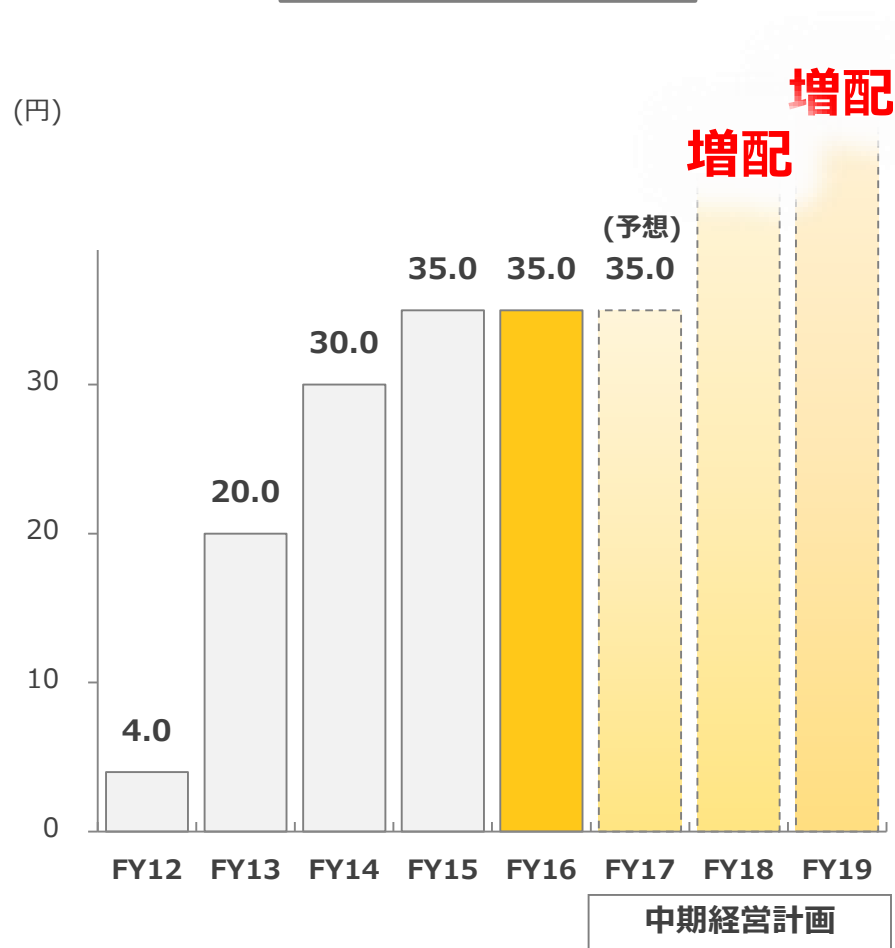


- ※ 1. 1株当たり純利益 = 当期純利益 ÷ 期中平均株式数 × 100
 2. 1株当たり純資産 = 自己資本 ÷ (発行済株式総数 - 期末自己株式数) × 100

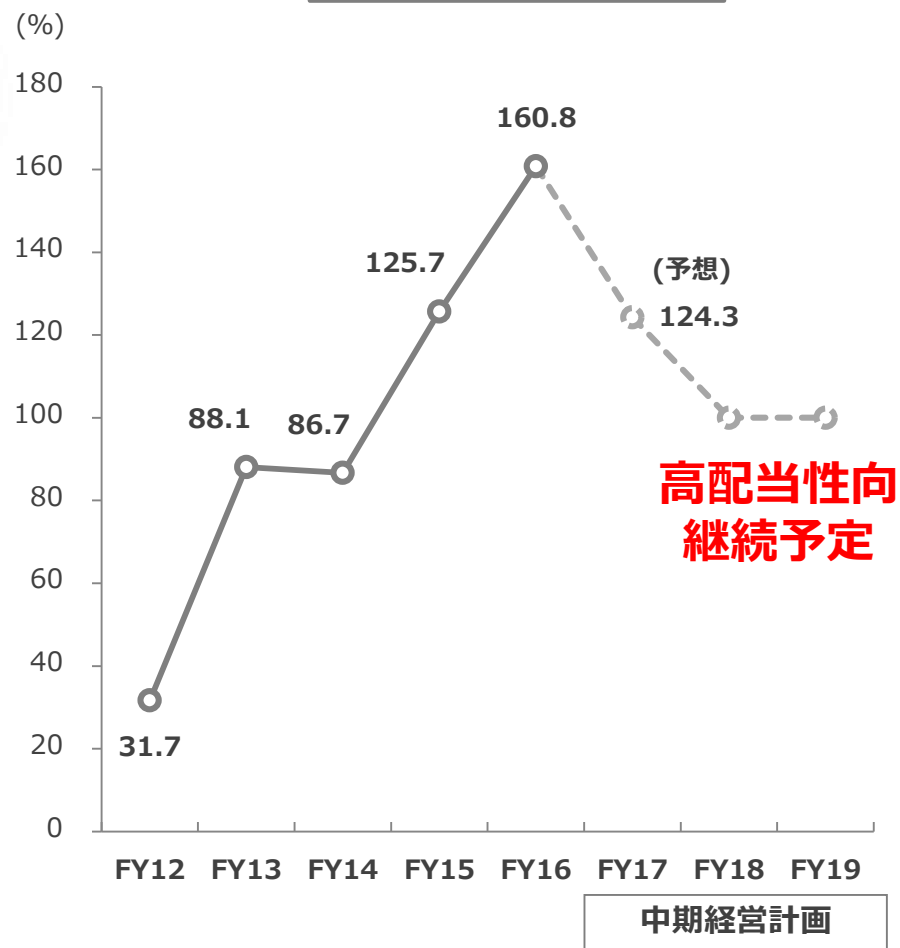
株主還元（2） 配当政策

■ 每期増配方針 → FY2017までは配当性向100%を、それ以降も高配当継続予定

一株当たり配当金

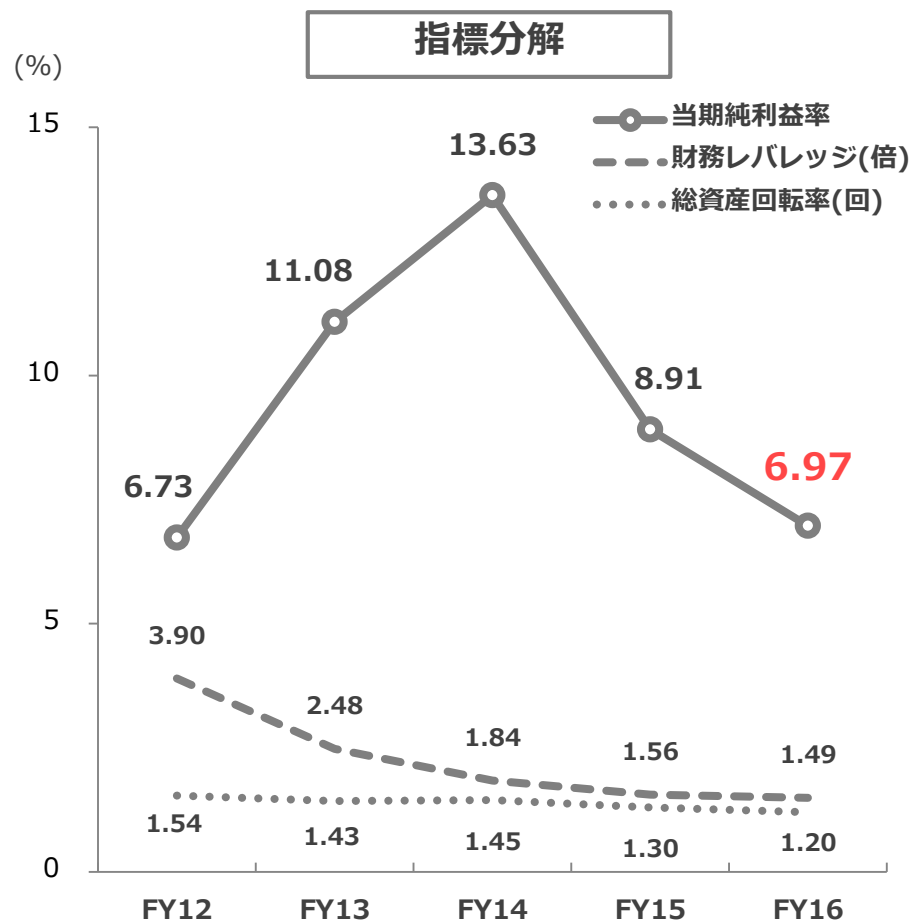
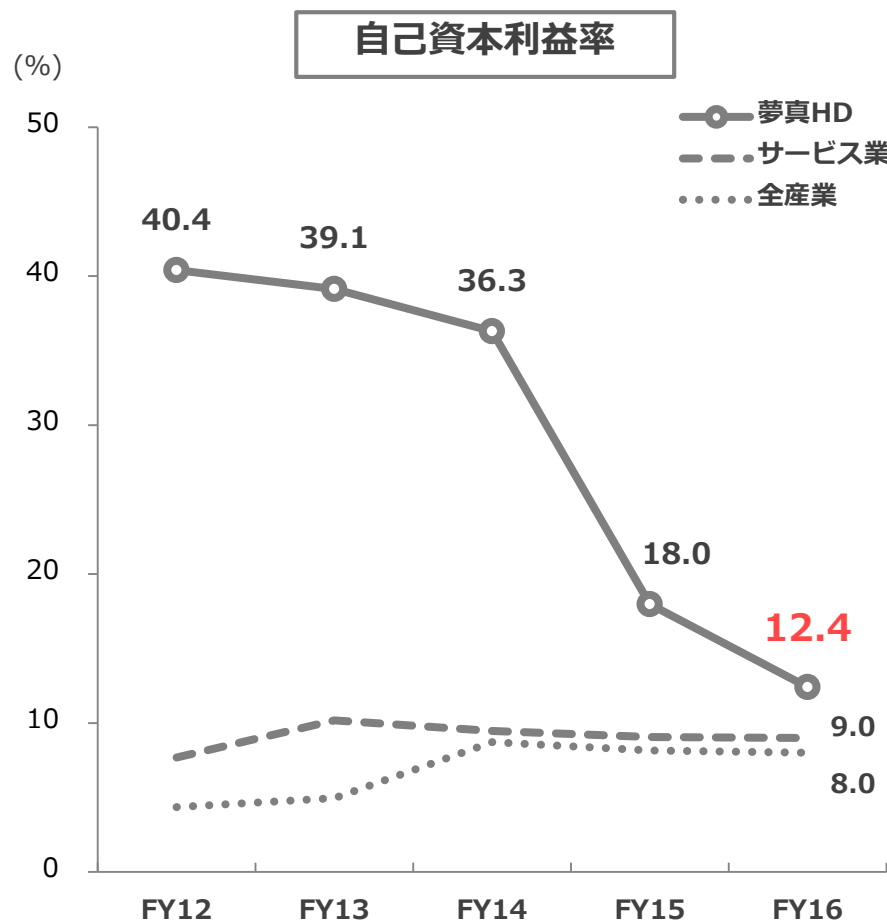


配当性向



株主還元（3）自己資本利益率

- 利益率の低下+自己株式処分による資金調達により低下
- 利益率の改善+M&Aなど積極的投資による自己資本の圧縮で30%水準への回復を目指す



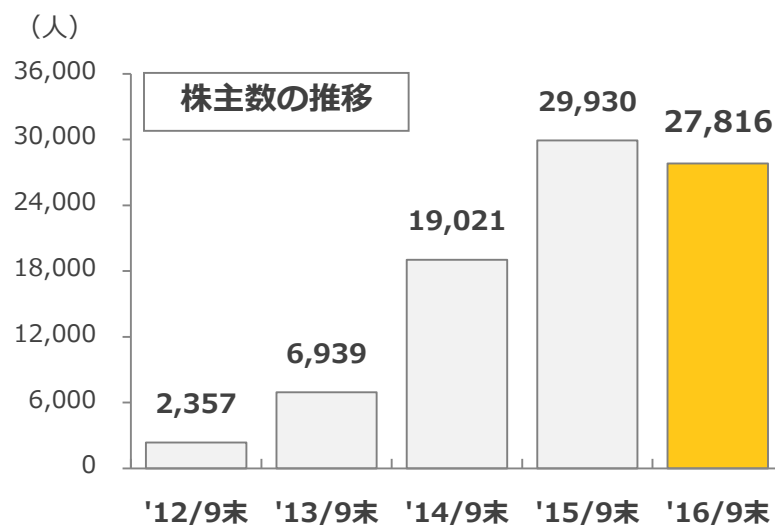
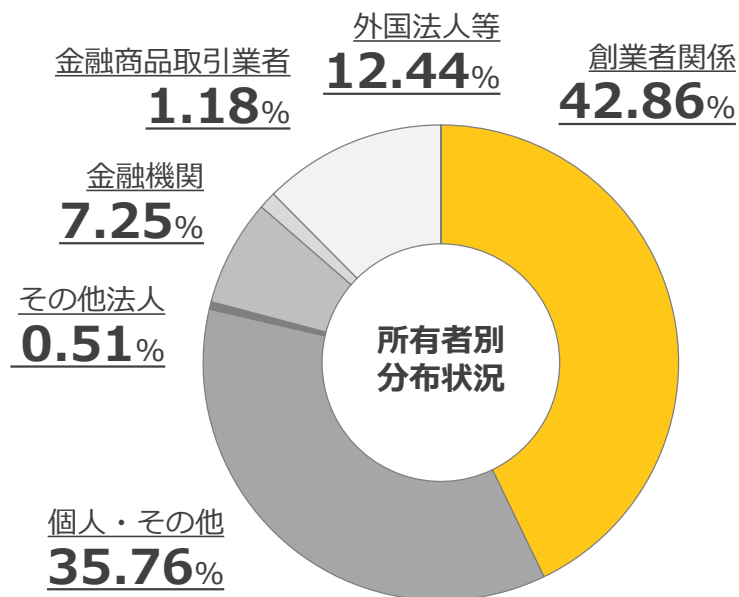
- ※ 1. 自己資本利益率 = 当期純利益 ÷ 自己資本(期中平均) × 100
 2. 財務レバレッジ = 総資産(期中平均) ÷ 自己資本(期中平均)
 3. 総資産回転率 = 売上高 ÷ 総資産(期中平均)
 4. 全産業・サービス業は東証一部銘柄

ご参考

ご参考 (1) 株式の状況

2016年9月30日現在

	株主名	所有株式数 (千株)	所有割合 (%)
1	Shingo Sato	16,425	22.02
2	Sato Sogo Kikaku	14,844	19.90
3	Japan Trustee Services Bank, Ltd.	2,598	3.49
4	BNYM TREATY	1,387	1.86
5	The Master Trust Bank of Japan, Ltd.	1,278	1.71
6	Trust & Custody Services Bank, Ltd.	1,266	1.70
7	Hideki Fukai	880	1.18
8	BANQUE PICTET AND CIE SA	700	0.94
9	Yoshiko Sato	688	0.92
10	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	585	0.78
大株主上位10名合計		40,654	54.52



※ 発行済株式総数=74,573,440株

ご参考 (2) 役員紹介

取締役

6名 (社外:2名)

監査役

3名 (社外:2名)

Total

9名

(As of Dec. 19, 2016)

代表取締役会長

佐藤 真吾

Born on Mar. 14, 1947 18,425,440shares

代表取締役社長

佐藤 大央

Born on Nov. 25, 1983 3,700shares

取締役

楠原 正人

Born on Jan. 2, 1950 17,000shares

取締役

佐藤 義清

Born on Apr. 22, 1963

社外取締役 (独立役員)

坂本 朋博

Born on Dec. 17, 1962 Sakatomo Law Office (Present post)

社外取締役 (独立役員)

小田 美紀

Born on Jan. 15, 1973 FinanTec Co., Ltd. (Director)

社外監査役 (独立役員)

高橋 宏文

Born on Sep.1, 1939 4,000shares

社外監査役 (独立役員)

六川 浩明

Born on June 10, 1963
OGASAWARA KONNO & ROKUGAWA (Present post)

監査役

松本 幸夫

Born on Mar. 7, 1948

人と人とのめぐりあいで みんなの夢を真にする





YUMESHIN

免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予想値であり、実際とは異なる場合もございます。

本資料は将来の結果をお約束するものではありませんし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



JASDAQ

[お問い合わせ]

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング 22F

株式会社 夢真ホールディングス IR室

TEL: 03-3210-1212 FAX: 03-3210-1209

E-mail: ir@yumeshin.co.jp